

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 上條俊介 副委員長 山里敬也・永長知孝
幹事 和田友孝・羽多野裕之
幹事補佐 橋本尚久・大野光平・麻生敏正

日時 9月2日(月) 10:30~17:00

会場 電気学会本部第1~第4会議室(千代田区五番町6-2
HOMAT HORIZONビル8F. JR/地下鉄:市ヶ谷駅から徒歩
2分. <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>)

議題 交通における計測, 一般

1. 道路情報処理ソフトウェア構築の最適化

小沢慎治(愛知工科大)

2. プローブデータを用いた右折交通流に対する交通順応制御の検討

○岩岡浩一郎・弘津雄三(パナソニックシステムネットワークス)・
鶴澤政幸(千葉県警察本部)

3. 時間的分散及び交通情報に基づく経路計画による渋滞緩和効果の検証

○上原和樹・赤嶺有平・遠藤聡志(琉球大)・
根路銘もえ子(沖縄国際大)

4. LEDによる通信・測距デバイスを用いた協調型車両位置推定手法の提案

大坪泰秀(阪大)・○梅津高朗(滋賀大)・
東野輝夫(阪大)

午後(13:30~)

ITS-5. Real Time Traffic Prediction in Urban Traffic Network
○Zilu Liang・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

ITS-6. UWBを用いた歩行者位置推定方式の検討

○石塚皓史(東京理科大)・大野光平(明大)・
伊丹 誠(東京理科大)

ITS-7. 利用衛星数の低減を目指した自位置推定アルゴリズムの検討

○羽多野裕之(宇都宮大)・木谷友哉(静岡大)・
藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)・大西博信(静岡大)

ITS-8. スペクトル拡散方式を用いた可視光車車間通信・測距統合システムの一検討(その2)

水井 潔(関東学院大)

ITS-9. [招待講演] ITS研究開発分野における学会連携に向けた取り組みについて—東日本大震災における土木学会・電気学会の連携の事例から—

牧野浩志(中日本高速)

10. [招待講演] 自動車の自動運転システム—展望と課題—

津川定之(名城大)

◆電気学会; ITS研究会, 情報処理学会; ITS研究会連催

☆ITS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月 東京理科大 [未定] テーマ: ITS通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

和田友孝(関西大システム理工学部電気電子情報工学科)

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL & FAX [06] 6368-1285

E-mail: wada@jnet.densi.kansai-u.ac.jp

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 石橋圭介

副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊

幹事 衛藤将史・松浦知史

幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

日時 9月6日(金) 9:25~19:30

会場 IJ 神保町三井ビル(千代田区神田神保町1-105 神保町
三井ビルディング. 地下鉄: 神保町駅, A9出口より徒歩約2
分または地下鉄: 竹橋駅, 3b出口より徒歩約6分. <http://www.ij.ad.jp/info/map/head-office.html>)

議題 インターネット運用・管理, 一般

1. IETFの歩き方 調整中 (ISOC-JP)

2. レイヤ3 Spine-Leaf データセンターネットワークの構築—Interop Tokyo 2013におけるShowNet data centerの取り組み—
○奥澤智子・関谷勇司(東大)

3. SDNを用いたクラウドサービスネットワークの実現
○中村 遼(東大)・堀場勝広(慶大)・関谷勇司(東大)

4. Ethernet OAM/CFMの相互接続の現状と課題とこれからのInterop Tokyo 2013におけるShowNet Ethernet OAMの取り組み—
○長谷川幹人(SIIネットワークシステムズ)・
関谷勇司(東大)

午後(12:30~)

5. [招待講演] 現実味を帯びてきたICN/CCNの研究動向

阿多信吾(阪市大)

6. 広域網テストベッドを用いたデータ指向型ネットワークの評価
○松原大典(日立)・岡本 聡・山中直明(慶大)・
高橋達郎(京大)

7. IPv4/IPv6共存技術の現状とShowNetでの相互接続検証結果について
○大久保修一(さくらネット)・植山寛章(奈良先端大)・
真野桐郎(A10ネットワークス)・渡邊 茂

8. IPv4/IPv6共存技術とその運用に基づくIPv6普及状況の観測—パブリック6to4リレールータの運用経験から—
○白畑 真(慶大)・大久保修一(さくらネット)・篠宮俊輔・
堀場勝広・村井 純(慶大)

9. 大規模ユーザエミュレーショントラヒック生成機構によるCGNの検証について
○西塚 要(NTTコミュニケーションズ)・
知念賢一(JAIST)

10. COMET II CASL IIを実装したSDNスイッチプラットフォーム上のHTTPロードバランサの試作
波多浩昭(NTTコミュニケーションズ)

11. Automatic Route Switching Method on HANA based Multihomed Network
Yong Jin・Yusuke Fukushima・
○Kenji Fujikawa・Yasunaga Kobari・Hiroaki Harai (NICT)

JANOGセッション

12. インターネット上の不正経路広告に対する現状と課題

吉田友哉(インターネットカフェード)

13. 調整中

◆JANOG共催(<http://www.janog.gr.jp>)

◎17:30~19:30, 学生奨励賞表彰式と懇親会を開催します。

☆IA研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月10日(木), 11日(金) ソウル Konkuk大 [締切済]
テーマ: Future Internet, etc.

10月22日(火) 東大先端知ビル [締切済] テーマ: ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用, 一般 (ADVNET共催)

11月1日(金) 広島[未定] テーマ:学生セッション, 一般
(日本学術振興会; インターネット技術第163委員会共催)

12月19日(木), 20日(金) 広島市大[10月11日(金)]
テーマ:性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スルー
プットやトラヒックの計測, 品質(QoS)制御, 輻輳制御,
トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P,
IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室内)

TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和
幹事 筒井 弘・目黒光彦 幹事補佐 田中 豪・原田康祐

日時 9月12日(木) 10:30~17:25
13日(金) 10:00~11:55

会場 早稲田大学早稲田キャンパス 11号館 703教室 (新宿区西
早稲田1-6-1. 東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩5分または
JR 高田馬場駅から徒歩20分. <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html> TEL [03] 5286-9839 石井大祐)

議題 知的マルチメディアシステム, 一般

12日午前

SIS-1. 3D DWT ビデオ伝送のビット誤り耐性の強化

○大村光徳・山崎彰一郎・松嶋智子 (職能開発大)

SIS-2. ベクトルメディアによる色選択を利用したモノクロ画
像の着色法に関する一提案 ○上田千晶 (山口大)・

徳永憲洋 (水産大)・末竹規哲・内野英治 (山口大)

SIS-3. 誤差拡散法と減色処理に基づいたデジタル画像の限定
色表示 上田千晶・○佐藤唯菜 (山口大)・

徳永憲洋 (水産大)・末竹規哲・内野英治 (山口大)

12日午後 (12:45~)

SIS-4. [チュートリアル講演] パーソナル・スマート・ヘルス
ケアとそれを支えるワイヤレステクノロジー ○田中宏和・
鈴木琢治・南 重信 (東芝)

SIS-5. コグニティブ無線通信システムのためのアジマススプ
レッドとKファクタによるチャネルシナリオ識別に関する一
検討 ○李 昊晨・笹岡直人・伊藤良生 (鳥取大)

SIS-6. 最小全域木に基づく空間充填曲線を利用した次元ス
イッチングメディアフィルタによるインパルスノイズ除去

○古賀崇了 (徳山高専)・加藤 剛・末竹規哲・
内野英治 (山口大)

SIS-7. 遺伝的アルゴリズムによるオープニングとクロージング
における構造要素の劣化画像のみを用いた推定

○鍋谷洋介・棟安実治・浅野 晃 (関西大)

SIS-8. 領域の特徴量に着目した歯科パノラマX線写真における
石灰化領域の検出手法の改良 ○原田裕典・棟安実治・
浅野 晃 (関西大)・内田啓一・田口 明 (松本歯科大)

9. Fish Detection by LBP Cascade Classifier with Optimized
Processing Pipeline ○Dang Hoang Anh

Sriprasertsuk Pao

Wataru Kameyama (Waseda Univ.)

SIS-10. [招待講演] 対数美的曲線について

○吉田典正 (日大)・斎藤隆文 (東京農工大)

11. [特別講演] デプスマップを用いた三次元映像符号化の国際
標準化動向 志水信哉 (NTT)

13日

SIS-1. [チュートリアル講演] 色覚とアルゴリズム—カラーユ
ニバーサルデザインを目指して— 目黒光彦 (日大)

SIS-2. 組織的ブロック拡散とDCTを用いた高耐性電子透かし

○大関和夫・坂内一貴・魏 遠玉・平川 豊 (芝浦工大)・
佐藤清次 (産技短大)

SIS-3. 埋め込み型マーカを利用した印刷画像へのデータ埋め込
みと検出に関する一手法 玉置公寿・○棟安実治 (関西大)

SIS-4. 秘密分散情報の符号化に関する研究 ○山崎彰一郎・
松嶋智子 (職能開発大)

◆情報処理学会; オーディオビジュアル複合情報処理研究会連催

◎12日研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので, 奮って
の御参加をお願い致します。

【問合せ先】

目黒光彦 (日大)

E-mail: meguro.mitsuhiko@nihon-u.ac.jp

☆SIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月12日(木), 13日(金) 鳥取[未定] テーマ: システム
オンシリコン, RFID 関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

筒井 弘 (北大)

E-mail: hiroshi.tsutsui@ist.hokudai.ac.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三

幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司

副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

◎本研究会は A・P 研究会と MW 研究会の併催です。研究会資
料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9月12日(木) 13:00~17:30

13日(金) 9:30~16:40

会場 NHK 放送技術研究所 (世田谷区砧 1-10-11. <http://www.nhk.or.jp/str/aboutstr/map.html> TEL [03] 5494-
2474 九鬼孝夫)

議題 マイクロ波ミリ波, 一般

12日

MW-1. 注入同期の物理的限界の実現について—理論—

田中久陽 (電通大)

MW-2. 注入同期の物理的限界の実現について—応用例—

○矢部洋司・飯倉秀策・中田一紀・守川知行・
Temuulen Enkhee・永留遼平・田中久陽 (電通大)

A・P-3. 60 GHz 帯異平面指向性合成 3-D PAA モジュールの検討
○鈴木祐也・吉田賢史・亀田 卓・末松憲治・
平 明德・高木 直・坪内和夫 (東北大)

A・P-4. マルチパス環境における動きのある人物の屋内位置推定に関する基礎検討
○佐藤耕平・山田寛喜・
山口芳雄 (新潟大)

A・P-5. 不完全 MRC のダイバーシチオーダについて
唐沢好男 (電通大)

A・P 研チュートリアル講演

A・P-6. [チュートリアル講演] 車載ミリ波レーダの開発動向
○小川 勝・松沢晋一郎・佐藤和夫 (豊田中研)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

A・P-7. [特別講演] 3300 万画素 120 フレーム/秒スーパーハイビジョンイメージセンサ (口頭発表) 島本 洋 (NHK)

13 日午前

MW-1. 可変周波数共振器を用いたチューナブルデュプレクサの開発
○池田一樹・利根正純・天明浩之・磯部 敦・
山本昭夫・松嶋直樹 (日立)・芝 隆司・比企野 治・
石崎達彦 (日立メディアエレクトロニクス)

MW-2. 2 バンドシングルキャリア信号同時増幅時の直交多項式を用いたデジタルブリディストーションにおけるパラメタ最適化の一検討
○安藤生真・タン ザカン・荒木純道 (東工大)・
山田貴之・加保貴奈・山口 陽 (NTT)

MW-3. リアルタイム負荷追従インピーダンス整合回路の提案
○佐藤翔一・水谷 豊・坂井尚貴・大平 孝 (豊橋技科大)

MW-4. コプレナー線路端部スロットで励振するマイクロストリップパッチアンテナのインピーダンス整合についての考察
○河野 徹・大島優太郎・亀井利久 (防衛大)

MW-5. 偏波依存性を利用した 2 周波 AMC 反射板をループアンテナに適用するための基礎検討
○鴨田浩和・花澤理宏・
北沢祥一・伴 弘司・久々津直哉・小林 聖 (ATR)

MW-6. 8 素子超伝導受信モジュールユニットを用いたフェーズドアレイ実験
○加屋野博幸・熊本 剛・塩川教次・
河口民雄・中山浩平・篠永充良 (東芝)

13 日午後 (13:30~)

A・P-7. 導体板近接設置による L 形モノポールアンテナ広帯域化の基礎検討
○飯草恭一・原田博司 (NICT)

A・P-8. 独立伝送形 WPT システムの動作原理解析とその特性
○常川光一・楊 程 (中部大)

A・P-9. 人体通信チャネルにおける外来ノイズ電界の等価電源表現の導出
○羽賀 望・本島邦行 (群馬大)

MW-10. IEEE 802.22 に基づく無線伝送装置の開発
○長谷川圭吾・竹川雅之・トウ キャートベン・柳澤 慶・
佐々木誠司・浅野勝洋 (日立国際電気)

MW-11. マイクロ波カメラの開発
○長山好夫 (核融合科学研)・杉戸正治 (分子科学研)・
桑原大介 (東京農工大)

MW-12. τ 型光路と光位相変調器を用いた位相制御マイクロ波信号の生成
○谷垣俊秀・萩原孝平・上原知幸・
辻 健一郎・小野寺紀明 (防衛大)

MW-13. SHF/EHF 帯を用いる超高速モバイル無線アクセスシステム
○奥村幸彦・植橋祥一・今井哲朗・須山 聡・
岡崎浩司・鈴木恭宜 (NTT ドコモ)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎12 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 3 日 (木), 4 日 (金) 金沢大サテライトプラザ [締切済] テーマ: 測定, 一般

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 松江テルサ [9 月 9 日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

12 月 12 日 (木) 機械振興会館 [10 月 10 日 (木)] テーマ: 一般

12 月 20 日 (金) 沖縄県内 [11 月 10 日 (日)] テーマ: 無線設備・アンテナシステム測定技術

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

榊原久二男 (名工大)

E-mail : ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 24 日 (木), 25 日 (金) 東北大青葉山キャンパス [締切済] テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 鹿児島県文化センター [9 月 13 日 (金)] テーマ: マイクロ波一般

12 月 19 日 (木), 20 日 (金) 埼玉大 [10 月 14 日 (月)] テーマ: 学生研究会/マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

清水隆志 (宇都宮大)

TEL & FAX [028] 689-6132

E-mail : tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

河合 正 (兵庫県立大)

TEL & FAX [079] 267-4873

E-mail : kawai@eng.h-hyogo.ac.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 竹内孔一・西崎博光
幹事 金山 博・大塚裕子 幹事補佐 橋本泰一・榊 剛史

日時 9 月 12 日 (木) 10:00~16:55

13 日 (金) 9:00~16:50

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (渋谷区代々木
神園町 3-1. 小田急線: 参宮橋駅下車徒歩約 7 分. <http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>)

議題 第 3 回テキストマイニング・シンポジウム

12 日午前 基礎・抽出

1. 現代日本語書き言葉均衡コーパスより抽出した頻度情報に基づく日本語学術ライティング指導教材の作成
○堀 一成・
坂尻彰宏 (阪大)・石島 悌 (阪府産技研)

2. 動詞の難易度と多義性について
○宮田光樹・鈴木孝彦・
廣川佐千男 (九大)

3. テキストマイニングを用いた EDR 辞書からの連想語抽出
○豊嶋章宏・奥村紀之 (香川高専)

4. 企業 WEB ページからの企業の事業に関連するキーワードの自動抽出
○勝田研一郎・酒井浩之 (成蹊大)

12 日午後

5. [招待講演] 未定 浅野弘輔 (ネットリク)
 評判・評価
6. Wikipedia のカテゴリ構造を用いた Twitter ユーザの関心事抽出
 ○胡 寅駿・藤井絵美子・河本裕輔・谷田泰郎 (シジマーケティング)
7. ニュース記事解析による関連企業のセンチメント評価
 ○薄井駿希・吉田博哉 (神戸情報大)
8. 商品の特色を表す少数派意見が記述されたレビューの推薦手法の提案
 ○白浜広彬・木村昌臣 (芝浦工大)
9. [依頼講演] ACL 2013 参加報告—会議概要と応用技術—
 西川 仁 (NTT)
10. [依頼講演] ACL 2013 参加報告—会議概要と応用技術—
 岡崎直観 (東北大)

13日午前 モデルと応用

1. Societas と自然言語処理 谷田泰郎 (シジマーケティング)
2. テキストマイニングを用いた時間帯別の顔文字の使用傾向に関する調査
 ○大西智佳・奥村紀之 (香川高専)
3. TETDM (Total Environment for Text Data Mining) による Exploratory Search 支援 徳永秀和 (香川高専)
4. 極大部分文字列の列挙による教師なし単語分割
 ○河内祐太・井上真郷 (早大)
5. 経済新聞記事より株価変動に影響を与える重要な記事の自動抽出
 ○中山 大・酒井浩之 (成蹊大)
6. 企業の決算短信 PDF からの業績要因の自動抽出
 ○西沢裕子・酒井浩之 (成蹊大)

13日午後 招待講演 (13:30~)

7. [招待講演] お客様の声を具現化する取組み—一世の中の不を解消するための経営—
 安藤直仁 (ファンケル)

実践

8. 文単位の有価証券報告書分析による利益伸び率の予測
 廣川佐千男 (九大)
9. 電機業界における経営課題の認識構造と実行動に関する知識の発見
 大森寛文 (野村総研)
10. インターネット通販の商品レビューに基づく野菜購入嗜好性の推定
 ○竹崎あかね・木浦卓治・林 武司 (中央農研)
11. テレビ番組視聴者のエンターテイメント業界での行動類推—価値観モデルを用いて—
 ○藤井絵美子・西尾義英・胡 寅駿・谷田泰郎 (シジマーケティング)

◎懇親会を12日の終了後予定しています。準備でき次第御案内します。また、予稿集印刷部数の参考のため、参加者数を確認したいので事前登録用のフォームを作成しました。御参加頂く方は下記のフォームへ御入力頂くとありがたいです。

<https://docs.google.com/forms/d/1KP5e66fBr-KYROczZARlj-hvuTlkmxftReDjYHPW3U/viewform>

なお、事前登録されていない方も当日御参加頂けます。

☆NLC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月4日(水), 5日(木) グリー六本木ヒルズ森タワー [未定] テーマ: 集合知シンポジウム (仮題)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

竹内孔一 (岡山大)・金山 博 (日本 IBM)
 E-mail: nlc-tm3@cl.cs.okayama-u.ac.jp

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 木俣 豊 副委員長 中島伸介・天笠俊之
 幹事 吉田尚史・灘本明代 幹事補佐 新谷隆彦・神崎映光

日時 9月12日(木) 13:00~17:25
 13日(金) 10:00~17:45

会場 国立情報学研究所 12階 1208.1210号室 (千代田区一ツ橋 2-1-2. <http://www.nii.ac.jp/about/access/>)

議題 データ工学と食メディア

12日 招待講演 1

1. 調整中

招待講演 2

2. 調整中

セッション 1: 食メディア 1

3. 食材に基づいたレシピの意外度算出手法の提案

○池尻恭介・清 雄一・中川博之・田原康之・大須賀昭彦 (電通大)

4. バスケット分析における追加推薦アルゴリズムを用いたレシピ食材推薦
 眞弓田 翼・○佐野睦夫 (阪工大)

5. オノマトペと味言葉の相関を考慮した料理レシピの印象検索
 ○渡辺知恵美 (筑波大)・中村聡史 (明大)・坂本真樹 (電通大)

6. FoodCam: スマートフォン上でのリアルタイム食事画像認識による食事記録アプリケーション
 ○河野憲之・柳井啓司 (電通大)

7. 料理名の修飾表現の関係性に基づくレシピのネーミングコンセプト抽出
 ○橘 明徳・若宮翔子 (兵庫県立大)・難波英嗣 (広島市大)・角谷和俊 (兵庫県立大)

13日午前 セッション 2: 食メディア 2

1. レパートリー拡大のための戦略的レシピ推薦システムの実装と評価
 ○中岡義貴・山本修平・佐藤哲司 (筑波大)

2. 食材調理法の習得順に関する一検討
 ○山本修平・中岡義貴・佐藤哲司 (筑波大)

3. レシピテキストからのフローグラフコーパス作成
 前田浩邦・山肩洋子・○森 信介 (京大)

4. レシピフローグラフを介したレシピ集合の要約と特徴抽出
 ○山肩洋子 (京大)・今堀慎治 (名大)・杉山祐一・田中克己 (京大)

13日午後 招待講演 3

5. 調整中

セッション 3: 食メディア 3

6. 調理支援ロボットの対話戦略 上田博唯 (京都産大)

7. 食品注文支援システムの試作の報告
 森下幸俊 (大日本印刷)

8. 高次脳機能障害者の遠隔調理支援における危険評価の検討
 ○氏田 亮・米村俊一 (芝浦工大)・宮脇健三郎・佐野睦夫 (阪工大)・大手道子 (阪府立障がい者自立センター)

9. 「オーダーメイド個人対応型栄養学」実践を可能にするプラットフォームの構築—健康実現 3000 万食レシピの提供システムの構築—
 ○小田裕昭 (名大)・内田友乃 (愛知学泉大)・阪野朋子 (名古屋女子大短大)・池田彩子 (名古屋学芸大)

10. スマートフォン向け FoodLog
 ○相澤清晴 (東大)・小川 誠 (foo.log)

セッション 4: データ工学

11. オンライン店舗の商品カテゴリ構造を用いたアイテム推薦システム
 ○財前元希 (兵庫県立大)・北山大輔 (工学院大)・

- 角谷和俊 (兵庫県立大)
12. オンライントピックモデルによる文書ストリームの適応的分類
○白井匡人・三浦孝夫 (法政大)
13. サプライチェーンマネジメントのためのデータベース構築
○下野亮太・都司達夫・樋口 健 (福井大)

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正
幹事 桑野文洋・竹内広宜 幹事補佐 後藤隆彰・青木善貴

日時 9月12日(木) 10:00~18:15
13日(金) 10:30~16:20

会場 電気通信大学東3号館3階301号室(調布市調布ヶ丘1-5-1. 京王線:調布駅下車, 中央口改札北口出口より徒歩5分.
<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> TEL [042] 443-5912 後藤隆彰)

議題

12日午前

1. 類似パターンの省略によるソースコードの可読性を向上させる新技法
○菊池 紘・西野哲朗・後藤隆彰・若月光夫(電通大)
2. 識別子の共起頻度に基づく凝集度遷移過程の可視化と測定
○岩山浩将・井上純一(北大)
3. 学習者の不得意分野を矯正するための教材呈示ロジック
○上之蘭和宏(青学大)・古宮誠一(NII)

12日午後(12:45~)

4. UML/OCLアサーションのサーバサイドでの実装
○田中聖一・小林 洋(東海大)
5. 割り込み処理に着目した組込みソフトウェアへのモデル検査適用の検討
○佐々木隆益(電通大)・吉岡信和(NII)・田原康之・大須賀昭彦(電通大)
6. オブジェクト指向ベトリネットに基づきイベント駆動性をとり入れた業務プロセスエンジンのアーキテクチャ
○金子良太・飯島 正(慶大)
7. ゴール構文表を利用したディペンダビリティケースのゴール分析法について
○松村昌典・山本修一郎(名大)
8. ゴール指向要求分析における意思決定と合意形成に関する研究—学際的アプローチ—
○岡野道太郎・中谷多哉子(筑波大)
9. 非機能要求グレードの大学ポータルサービスへの適用についての考察
○増元美紀・山本修一郎(名大)
10. Consistency check of D-case produced from DFD
○Nada Olayan・Shuichiro Yamamoto・Vaise Patu (Nagoya Univ.)
11. シーケンス図に基づくディペンダビリティケース作成法の適用性の検討
○丁 峰・山本修一郎(名大)
12. SEMAT と保証ケースの関係についての考察
山本修一郎(名大)

13日午前

1. 利用者インタラクションの設計・評価のためのストレスレベルのセンサーによる取得と利用
○石井愛弓・飯島 正(慶大)
2. コミュニケーション支援のためのジェスチャの取得と記述
○宇野澤広樹・飯島 正(慶大)
3. マルチエージェントシミュレーションのための地理空間情報

第一種研究会開催案内

の知識再構成 ○山崎淳城・飯島 正(慶大)
13日午後(13:15~)

4. [チュートリアル招待講演] 要求工学の現状と展望—ソフトウェア進化と自己適応にむけて— 中川博之(電通大)
5. 運用手順に対するアシユアランスケース作成法の比較評価
○高間翔太・山本修一郎(名大)
6. Assurance Cases のエビデンス評価の一考察 ○石井正樹・倉光君郎(横浜国大)
7. Classification method to identify security risk and attack patterns for a dependable Security Case ○Vaise Patu・Nada Olayan・Shuichiro Yamamoto (Nagoya Univ.)

☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月1日(金), 2日(土) 愛媛大 [9月4日(水)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松浦佐江子(芝浦工大)

E-mail: matsuura@se.shibaura-it.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい.

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保
幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎・三宅 優

日時 9月13日(金) 13:10~17:30

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

1. FDTD法を用いた暗号サイドチャネルリーク的设计評価手法
○浅井稔也・吉川雅弥(名城大)
2. A new array disorder in user authentication by keystroke dynamics
Yoshihiro Kaneko (Gifu Univ.)
3. 共通文字列を用いた簡単な認証 寺澤善博
4. K(XII)SE(1)PKCを修正した新しい公開鍵暗号, K(XIII)SE(1)PKC, K(XIV)SE(1)PKC 笠原正雄(早大/中大)
5. A Proposal of Extended Anonymous Credential System with Efficient Proof on Age
○Shahidatul Sadiah・Toru Nakanishi・Kan Watanabe・Nobuo Funabiki (Okayama Univ.)
6. (t, n)-Threshold Progressive Visual Cryptography Scheme
○Wenjuan Wang・Hachiro Fujita (Tokyo Metropolitan Univ.)
7. 国際会議 EUROCRYPT 2013 参加報告 花谷嘉一(東芝)
8. [招待講演] 暗号学的関数に対する電子透かし方式
西巻 陵 (NTT)
9. Secure Dynamic Hourglass Protocol for Untrusted Server
○Ratemo Alice Harriet Mwango・Atsuko Miyaji (JAIST)

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月28日(木), 29日(金) 東北大 [9月14日(土)] テーマ: 情報セキュリティ, ライフログ活用技術, ライフインテ

リジェンス, オフィス情報システム, 一般

12月11日(水) 機械振興会館〔10月14日(月)〕テーマ:
一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岩田 哲 (名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 清水昭伸 副委員長 増谷佳孝・森 健策

幹事 河田佳樹・木村裕一 幹事補佐 北坂孝幸・本谷秀堅

日時 9月13日(金) 9:25~16:40

会場 千葉大学西千葉キャンパス工学部15号棟110号室(千葉
市稲毛区弥生町1-33。JR総武線:西千葉駅下車,徒歩5分。
<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/access.html> TEL [043] 290-
3083 菅 幹生)

議題 診断と治療の質を高める画像化・統合化技術

計算解剖学

- 臓器位置合わせにおいて特徴抽出演算子と統計形状モデルが
獲得する情報量の定量評価 ○中根隆之・堤 貴浩・
本谷秀堅(名工大)
- 局所アピランスが体位により大きく変化する解剖学的ラン
ドマークの検出性能向上に関する検討 ○根本充貴・
増谷佳孝・花岡昇平・野村行弘・三木聡一郎・吉川健啓・
林 直人・大友 邦(東大)
- 3次元マルチスライスCT画像を用いた胸部構造解析法
○松廣幹雄・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登・
上野淳二(徳島大)・中野恭幸(滋賀医科大)・
大松広伸(国立がん研究センター東病院)・楠本昌彦・
土田敬明(国立がん研究センター中央病院)・江口研二(帝京大)・
金子昌弘(東京都予防医学協会)・森山紀之(国立がん研究センター)
- 股関節CT画像からの個別筋肉・筋肉群領域の自動抽出ー筋
肉組織領域の形状特徴に基づく階層的マルチアトラス法の改良
ー ○高谷美都・横田 太(神戸大)・岡田俊之・
高尾正樹・菅野伸彦(阪大)・多田幸生(神戸大)・
富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)

特別講演1

- 〔特別講演〕 スパースモデリングによる情報処理
池田思朗(統計数理研)

午後 バイオメディカルイメージング(13:20~)

- 心臓超音波画像とCT画像のイメージ・フュージョン
○高橋勇貴・仁木清美(東京都市大)
- ゼブラフィッシュ心臓の非同期連続共焦点顕微鏡像に対する
事後同期処理 ○佐藤哲大・高田智夫(奈良先端大)・
湊 小太郎(アステム)

特別講演2

- 〔特別講演〕 体幹部臓器の高精度低侵襲治療を支援する画像
技術 ○羽石秀昭・山口 匡・中村亮一・菅 幹生・
中口俊哉・川平 洋・大西 峻(千葉大)
- 〔特別講演〕 安全で質の高い低侵襲化外科治療をもたらす近
赤外蛍光イメージング 林 秀樹(千葉大)

◆文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究医用画像に基づく

計算解剖学の創生と診断・治療支援の高度化

◎16:00~16:40 千葉大学サイエンスパークセンター施設見学,
その後、隣接会議室にて懇親会を1時間程度開催予定。

◎見学会参加希望の方はタイトルを「千葉大学サイエンスパーク
センター見学(9/13)希望」とし、会場担当(E-mail:mikio.
suga@faculty.chiba-u.jp)までメールでお申し込み下さい。

☆MI研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月7日(木) 広島市大〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸(愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121(内線2423), FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒

幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 9月18日(水) 10:35~17:10

19日(木) 11:15~14:35

会場 千葉大学西千葉キャンパスアカデミック・リンク・セン
ターI棟1階コンテンツスタジオ(ひかり)(千葉市稲毛区弥
生町1-33。 http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/ 伝 康晴)

議題 音声・言語・対話, 一般

18日午前 一般セッション: 音韻・韻律(10:35~11:25)

- 音声生成過程の教育用モデルー肺・声帯・声道モデルが説明に有
効ー 鈴木誠史(声通信研)
- 単語の発話音韻長と幼児の語彙獲得期間との関係

○南 泰浩・小林哲生(NTT)

18日午後 オーガナイズドセッション: 対話システムの評価
(招待講演)(13:00~15:00)

- 〔招待講演〕 音声インターフェイス市場の現状と今後
神尾 寿(通信・ITSジャーナリスト)
- 〔招待講演〕 会話システムのチャレンジとチャンス

前田あき子(けい)

オーガナイズドセッション: 対話システムの評価(評価・分析)
(16:20~17:10)

- 説明対話における韻律情報及び頭部運動と感情評価値の関連
性分析の試み ○八木みゆき・森田礼子・中井正人・
西村竜一・河原英紀・入野俊夫(和歌山大)

- 音声対話システムに対するインタラクション継続欲求
○菊池英明(早大)・宮澤幸希(理研)・小川義人・
藤倉将平(早大)

19日午前 オーガナイズドセッション: 言語, 非言語を統合し
たマルチモーダル処理と対話の接点(発話のタイミング)
(11:15~11:40)

- 局所区間のマルチモーダル情報を用いたユーザ状態の推定に
関する検討 ○千葉祐弥(東北大)・
伊藤 仁(東北工大)・伊藤彰則(東北大)

19日午後 オーガナイズドセッション: 言語, 非言語を統合し

たマルチモーダル処理と対話の接点（発話の個人性・ジェスチャー）（14：10～14：35）

2. 話し言葉における言語情報の個人性変換における変換辞書拡張
○水上雅博・Graham Neubig・Sakriani Sakti・

戸田智基・中村 哲（奈良先端大）

◎人工知能学会；言語・音声理解と対話処理研究会併催。詳細はSP研究会ホームページを御覧ください。

<http://www.ieice.org/~sp/jpn/home.html>

【問合先】

大庭隆伸（NTT）

E-mail：oba.takanobu@lab.ntt.co.jp

★安全性研究会（SSS）

専門委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 9月26日（木）10：30～17：00

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 ヒューマンファクターに関する安全性問題を主として

1. 作動要求時平均機能失敗確率（PFD）算定のための平均フォールト時間について ○小谷田一詞（JARI）・

佐藤吉信（JACO）

2. 技術者の思い込みについて—福島第一原発吉田元所長のご遺志に沿って— 草間 昇

午後（12：50～）

3. [チュートリアル講演] 道路交通安全のための眠気対策の現状と課題 伊藤 誠（筑波大）

4. [招待講演] ドライバの眠気軽減を目的とした短時間仮眠技術の開発—刺激提示による浅い眠り維持の検討—

飯塚尚司（トヨタ自動車）

5. [依頼講演] 双対制御論的運転支援システム—車両安全確保とドライバ状態推定の機能とその特性— ○齊藤裕一・

伊藤 誠・稲垣敏之（筑波大）

6. [招待講演] 事業用自動車の過労運転防止のための課題

鈴木一弥（労働科学研）

7. [招待講演] 自動車の安全技術とISO39001の活用

永井勝典（自動車事故対策機構）

8. [招待講演] 鉄道分野における機会による意識水準低下対策の現状と課題 藤野秀則（JR西日本）

☆SSS研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月21日（木）芝浦工大〔9月15日（日）〕テーマ：消費者の安全問題を主として

12月19日（木）明大〔未定〕テーマ：エネルギーの安全問題を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣（芝浦工大工学部情報工学科）

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail：masaomi@shibaura-it.ac.jp

★電子部品・材料研究会（CPM）

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟

幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

日時 10月8日（火）13：00～14：40

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光記録技術・電子材料、一般

1. 球面参照波シフト多重とペリストロフィック多重を複合した記録方式による高密度記録 ○塚本 悠・倉田博之・

大久保海斗・山本 学（東京理科大）

2. 熱伝導層導入による体積磁気ホログラムの回折効率の改善

○相良尚人・磯谷亮介・高木宏幸・中村雄一・林 攀梅・

井上光輝（豊橋技科大）

3. 積層構造を導入した磁性ガーネット媒体を用いた体積磁気ホログラムの回折効率向上 ○磯谷亮介・相良尚人・

小林 完・高木宏幸・中村雄一・林 攀梅・

井上光輝（豊橋技科大）

4. 垂直磁化磁性体におけるマイクロ波アシスト磁化反転

岡本 聡（東北大）

☆CPM研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月27日（水）～29日（金）鹿児島県文化センター〔未定〕
テーマ：デザインガイア2013—VLSI設計の新しい大地—

11月28日（木）、29日（金）阪大吹田キャンパス〔9月13日（金）〕
テーマ：窒化物及び混晶半導体デバイス、及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

圓佛晃次（NTTフotonics研究所）

TEL [046] 240-2078

E-mail：enbutsu.koji@lab.ntt.co.jp

——北海道支部における開催——

★環境電磁工学研究会（EMCJ）

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 9月13日（金）10：30～17：05

会場 北海道大学百年記念会館大会議室（札幌市北区北9条西6

丁目。JR：札幌駅下車徒歩10分、地下鉄南北線／東豊線：札幌駅下車徒歩15分、地下鉄南北線：北12条駅下車、徒歩10

分。http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/100th/
TEL [011] 706-2042（会場）清水孝一）

議題 生体、EMC、一般

1. 無線LAN電波による通信装置の電磁干渉問題に関する一考察 ○平澤徳仁・岡本 健・伊藤秀紀・高橋 正・

村川一雄（NTT東日本）・奥川雄一郎・秋山佳春（NTT）

2. 40GHzに対応したSIW共振器多段構造による金属筐体開口部の電磁ノイズ透過抑制に関する定量的検討 ○白木康博・

岡 尚人・佐々木雄一・大橋英征・米田 諭（三菱電機）

3. 基板実装型コモンモードチョークコイルの電磁界解析用モデルの評価 ○中本藤之・佐々木雄一・渡邊陽介・宮崎千春・

岡 尚人（三菱電機）

午後

4. 磁性木粉による粉体型磁性木材の電波吸収微調整機能に関する

- る検討 ○水野翔太・岡 英夫・三浦健司・久保田賢二(岩手大)・浪崎安治・内藤康二(岩手県工技協)
5. 炭素繊維強化プラスチック積層板を用いた構造体内部における電磁界特性—直方体電波反射箱内における構造体 Q 値の特性評価— ○ニッ森俊一・森岡和行・河村暁子・米本成人(電子航法研)
6. コヒーレンスを用いた無線通信に影響を与える雑音源の特定 ○風間 智・池田博康(労働安全衛生総研)
7. 外部の電界分布を用いた放射源推定に関する研究 ○南條裕太・戸花照雄・小林征広・笹森崇行・磯田陽次(秋田県立大)
8. 人体通信における生体情報センシング回路への電磁干渉特性の電磁氣的・回路的解析 ○王 建青・竹中隆哉(名工大)
9. 眼組織への赤外線照射に関するばく露評価手法の検討 ○佐々木真央・チャカロタイ ジェド ヴィスノフ・キック アルフレード・鈴木敬久(首都大東京)・小島正美(金沢医科大)・奥野 勉(労働安全衛生総研)
10. ミリ波帯における皮膚の電気定数測定とばく露評価に関する研究 ○佐々木謙介・和氣加奈子・渡邊聡一(NICT)
11. [特別講演] ビッグデータからの価値創出—「気づき」を生み出す画像検索— 長谷山美紀(北大)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

- ☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
- 10月24日(木), 25日(金) 東北大青葉山キャンパス [締切済] テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析
- 11月22日(金) 東京電機大 [9月13日(金)] テーマ: EMC, 一般
- 12月20日(金) デンソー [10月14日(月)] テーマ: 電力, 生体, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

肖 鳳超(電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)
 〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1
 TEL & FAX [042] 443-5234
 E-mail: emcj@mail.ieice.org

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔
 幹事 井手一郎・蔵田武志・杉本麻樹
 幹事補佐 上岡玲子・酒田信親・三上 弾

日時 9月26日(木) 9:00~18:30
 27日(金) 9:00~12:55

会場 利尻町交流促進施設「どんと」(利尻郡利尻町杵形字富士見町 2-2. <http://db.net-bibai.co.jp/SCRIPTS/RISHIRI/HPCNT.EXE?HP=RISHIRIHPCNT.HTM&SP=RISHIRI> TEL [0163] 84-2445 蔵田武志)

議題 複合現実感, 仮想都市, 及び一般

26日午前 MVE 一般 1

- MVE-1. 食のリアリティに関する一考察 青木直史(北大)
 MVE-2. 拡張現実感による情報調整に基づいた不完全情報ゲーム 明神聖子(立命館大)

視点と空間

3. 事前レンダリング画像群を用いた自由視点画像生成に基づく

- 写実的な拡張現実画像合成 ○大倉史生・神原誠之・横矢直和(奈良先端大)
- MVE-4. 個人視点映像からの広視野画像の自動生成—輝度値の確率分布に基づいた貼り合わせに適した画像群の選択— ○松井研太・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一(京大)
- MVE-5. テレビの外側を覗き見る—空間的な拡がりを考慮したセカンドスクリーンへの映像提示— ○越智大介・三上 弾・高橋康輔・小島 明(NTT)

MVE 一般 2

- MVE-6. 可視光通信プロジェクタの多重化に関する基礎検討 ○田中恭太郎・福嶋政期・苗村 健(東大)
7. モーションキャプチャを用いたパースペクティブの映像誇張 宇都木 契(日立)
- MVE-8. 音声特徴と画像特徴を利用したニュース映像からの同一場面検出 ○熊谷はるか(名大)・道満恵介(中京大)・井手一郎・出口大輔・村瀬 洋(名大)

26日午後 協調作業支援 (14:00~)

9. 時差ビデオコミュニケーションにおける映像表示方法の検討 井上智雄(筑波大)
- MVE-10. 対面共同ウェブ検索支援システム Round-Table Browsing の実践利用 ○上田健太郎・福嶋政期・飯田 誠・苗村 健(東大)
- MVE-11. 動作の正確さと計測の精度に基づいた指差しインターフェース—確率密度によるポインティング表示— ○保澤圭亮・吉本廣雅・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一(京大)

人物・顔

12. 多指向映像表現に向けた非正面観察における人物の方向表現に関する検討 ○小澤史朗・三枝知史・伊達宗和・高田英明・小島 明(NTT)
- MVE-13. ビデオ通話のための Point Distribution Models を用いた顔表情増強手法 ○佐藤翔悟・北原 格・大田友一(筑波大)
14. 多人数会話環境における最小限の人物の方向に関する検討 ○三枝知史・小澤史朗・伊達宗和・高田英明・小島 明(NTT)
- MVE-15. RGB-D カメラを用いた車椅子利用者のための AR 着装シミュレーション ○一刈良介・大西正輝・蔵田武志(産総研)

授賞セッション (MVE 賞, サイバースペース賞)

16. オフィスワークの作業状況推定と遠隔共有 ○藤田欣也・田中貴紘・青木和昭(東京農工大)
17. Capture and Drop: 全周囲 3 次元形状計測と AR 表示位置指定を行う箱型デバイスの提案 ○有賀玲子・大和淳司・小林 稔・田中智博(NTT)
- MVE-18. TI 社製 TMS320C6713DSK とマイコンを用いて試作した雑音抑圧機器の実装評価 ○武田 駿(諏訪東京理科大)・名取隆廣(東京理科大)・田邊 造(諏訪東京理科大)・古川利博(東京理科大)

27日 三次元空間とインタフェース

1. 仮想平面を利用した飛行物体操作手法の提案 ○米澤和也・小川剛史(東大)
2. Speech3D: 音声言語インタフェースによる 3 次元物体生成装置 ○貞光九月・千明裕・杉本志織(NTT)
3. User interface design of a SLAM-based handheld AR work support system ○Jarkko Polvi・Kim Juhyun・武富貴史

村山嘉延 (日大)

- 山本豪志朗・宮崎 純・加藤博一 (奈良先端大)
4. 積み木型ブロックデバイスのための赤外線による積み重ね認識手法に関する検討 ○安藤正宏 (阪大)・細井俊輝 (東北大)・中島康祐・伊藤雄一 (阪大)・北村喜文 (東北大)・尾上孝雄 (阪大)
5. 工場内巡回ロボットののための RGB-D カメラを用いた広域実環境再構築システムの設計 ○阿部哲朗・古都知哉・Alexander Plopskil・間下以大・清川 清・竹村治雄 (阪大)・福田登仁 (ウエストユニティス)
- 歩行・測位・軌跡
6. 転倒予防のためのスマートフォンを用いた歩行解析技術の検討 ○新島有信・篠原章夫・定方 徹・田中智博 (NTT)
- MVE-7. 電波強度を用いた屋内位置測位の自律化に向けた検討 ○辻 順平・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)
- MVE-8. 3次元 SLAM のための直交平面を対象とした画像平行化 ○巻測有哉・加藤晴久・柳原広昌 (KDDI 研)
9. トラッキングデータを可視化したサッカーの戦略分析支援システム ○権藤聡志・樽川香澄 (慶大)・井上智雄 (筑波大)・岡田謙一 (慶大)

◆VR 学会; SIGMR/SIGCS, HI 学会; SIGVR 連催

【問合せ先】

井手一郎 (名大)・蔵田武志 (産総研)・杉本麻樹 (慶大)
E-mail: mve-apply2013@mail.ieice.org

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月9日(水) 産総研名古屋駅前イノベーションハブ [締切済] テーマ: 一般

11月11日(月), 12日(火) 金沢工大 [9月11日(水)] テーマ: 一般

11月23日(土) 同志社大室町キャンパス寒梅館 [9月18日(水)] テーマ: 水中音響, 一般 (共催: 海洋音響学会)

12月18日(水) 日大駿河台キャンパス [10月16日(水)] テーマ: 強力超音波, 一般 (共催: 日本塑性加工学会超音波応用加工分科会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山口 匡 (千葉大)

TEL & FAX [043] 290-3267

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

— 東北支部における開催 —

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美
幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 9月12日(木) 13:00~16:45

会場 東北大学工学部電子情報システム・応物系南講義棟 103号室 (仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6. 仙台駅前西口バスプール 9番乗り場から工学部經由動物公園循環, 宮教大, 青葉台, 成田山行きに乗り, 「工学部中央」で下車, <http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=access> <http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=d> の D18 の建物 TEL [022] 795-7079 長谷川英之)

議題

1. 高速超音波イメージングにおける並列ビーム形成法と回折トモグラフィ法の空間分解能の比較 ○長谷川英之・金井 浩 (東北大)
2. ざり弾性率再構成における平均垂直応力分布を無視することによる影響 ○炭 親良・平林勇人 (上智大)
3. 適応ダイナミックフィルタによるドプラ信号の改質とその空中超音波ウロダイナミクス計測への応用— (第2報)— ○松本成史・竹内康人・柿崎秀宏 (旭川医科大)
4. 集束超音波音場におけるキャビテーション気泡の加熱増強効果と気泡からの反射波の解析 ○宮下拓也・安田 惇・吉澤 晋・梅村晋一郎 (東北大)
5. 光ファイバセンサを用いた超音波と温度変化の分離測定計測 ○陰山 誉・小山大介・秋山いわき (同志社大)
6. 超音波ダブルコアリングによるガラスディスクの加工 ○越水重臣 (産技大)・青木 繁 (都立産技高専)
7. マイクロ触覚センサの高感度化とバイオメカニクスへの応用

第一種研究会開催案内

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳
幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承
幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲
幹事 梅原大祐・寺田 純

◎本研究会は NS 研究会と IN 研究会, CS 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 9月12日(木) 10:20~18:20

13日(金) 9:20~15:05

会場 東北大学電気通信研究所 (仙台市青葉区片平 2-1-1)

議題 ポスト IP ネットワーキング, 次世代・新世代ネットワーク (NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理 (SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

12日午前 NS1 (A会場) (10:20~12:00)

NS-1. A distributed method for measuring available bandwidth in overlay networks exploiting path overlap

○Dinh Tien Hoang・Go Hasegawa・Masayuki Murata (Osaka Univ.)

NS-2. 規模拡張可能な広域仮想 OpenFlow ネットワーク構築手法の提案

○山中広明・河合栄治・石井秀治・下條真司 (NICT)

告 17

NS-3. キャリア網における NW 機能の仮想化を考慮したサービス
スチューニング方式の提案 ○小島久史・北田裕之・
高谷直樹・相原正夫 (NTT)

NS-4. LTE ローミングにおけるキャリア間相互接続 (IPX) の
構成法に関する一考察 ○森谷高明・川口宏治・
引地 透 (NTT コミュニケーションズ)

IN1 (B 会場) (10:20~12:00)

IN-5. スマートメータを利用した使用機器の推定手法の提案

○吉野太郎・和泉 諭・阿部 亨・菅沼拓夫 (東北大)

IN-6. 断続的な TCP 通信のための TCP スループット予測モデ
ル ○吉田裕志 (NEC/東工大)・里田浩三 (NEC)・
村瀬 勉 (東工大/NEC)

IN-7. パブリッククラウドの仮想マシン性能の特性

○首藤裕一・波戸邦夫 (NTT)

IN-8. 無線センサネットワークにおける締切を考慮したデータ
転送手法 ○藤井 廉・馬場健一・下條真司 (阪大)

12 日午後 チュートリアル講演 (13:00~15:00)

共通-9. [チュートリアル講演] ネットワーク仮想化基盤技術の
紹介 ○中尾彰宏 (東大)・島野勝弘・山田一久 (NTT)・
北辻佳憲・阿野茂浩 (KDDI 研)・清川雅博 (NICT)

共通-10. [チュートリアル講演] NW 仮想化の外部動向と
VNode の NW 管理技術とその活用について ○山田一久・
片山陽平・島野勝弘 (NTT)

共通-11. [チュートリアル講演] サービス合成可能なネット
ワークプラットフォーム 吉田芳明・福嶋正機・北辻佳憲・
○田上敦士・阿野茂浩 (KDDI 研)

招待講演 1 (A 会場) (15:10~16:40)

NS-12. [招待講演] スーパーハイビジョンの開発動向

川本潤一郎 (NHK)

IN-13. [招待講演] 次世代型双方向通信出力制御実証事業—青
森実証フィールドの進捗— 片岸 誠 (日立)

招待講演 2 (A 会場) (16:50~18:20)

CS-14. [特別招待講演] 省電力を目指したセンサネットワーク
における効率的データ収集方式 朝香卓也 (首都大東京)

CS-15. [特別招待講演] 新世代ネットワーク及び将来網の国際
標準化動向 (PIF 講演) 西永 望 (NICT)

13 日午前 CS1 (A 会場) (9:20~10:35)

CS-1. SDN 光アクセス網でのモバイル収容と MPTCP の適用に
関する一検討 ○中平佳裕・鹿嶋正幸 (OKI)

CS-2. OpenFlow を利用した IP レイヤのマルチパスによる通信
の高信頼化 ○栗原公紀・鈴木 悟・藤山佳輝 (東芝)

CS-3. 発信端末アドレスのみを持つパケットを双方向転送する
MAC 動作形ツリー状リング網の提案
○龍野秀雄 (龍野研)・水野恒雄 (水野国際特許事務所)

NS2 (B 会場) (9:20~10:35)

NS-4. 冗長タイムマスタを持つシステムにおける高精度時刻同
期方式の提案 ○長川大介・三部 健 (三菱電機)

NS-5. ネットワーク内誘導による分散資源共有機構をもつ参加
型クラウドコンピューティングプラットフォーム

○西井健人・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-6. アクティブ測定による Web 通信構造分析

○上山憲昭・中野雄介 (阪大/NTT)・塩本公平 (NTT)

CS2 (A 会場) (10:45~12:00)

CS-7. ネットワークの全体最適化手法の検討 ○藤岡新也・
藤平健二・宇田哲也・声 賢浩・高瀬誠由 (日立)

CS-8. ネットワーク接続管理技術を利用した機器の稼働時間推

定手法の提案と評価

○庄子祐亮・角田 裕・

松田勝敬 (東北工大)

CS-9. トラヒック解析に基づいたウェブアプリケーション識別

○和泉勇治・田中和之 (東北大)

IN2 (B 会場) (10:45~12:00)

IN-10. MANET を用いた緊急避難支援のための等数型通信方式

○一谷 謙・藤本まなと・片山哲誌・今西亮太・

和田友孝 (関西大)・崔 永福 (東明大)・岡田博美 (関西大)

IN-11. 自律移動ナビゲーションシステムのためのパッシブ
RFID システムを用いた移動制御法 ○藤本まなと・

中森絵美・佃 大貴・仲西 正・長尾 遼・

和田友孝 (関西大)・六浦光一 (信州大)・岡田博美・

飯田幸雄 (関西大)

IN-12. 車両情報量向上のための赤外線レーダによる RSSI を用
いた車両コード判別方式 ○式地雄佑・渡利啓太・

和田友孝・岡田博美 (関西大)

13 日午後 NS3 (A 会場) (13:00~15:05)

NS-13. 仮想光トランスポート制御技術における資源割当最適化
方式の検討 ○森 弘樹・鎌村星平・島崎大作・植松芳彦・

笹山浩二 (NTT)

NS-14. 無線 LAN におけるマルチチャネル化とネットワーク
コーディング再送の適応的連携に基づくチャネルアクセス制御
法 ○寺村 拓・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-15. 無線 LAN におけるフェージング環境下での伝送スル
ープットを向上させる送信スケジューリング ○吉岡 栞・

谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-16. モバイル網における TCP の輻輳制御に用いる遅延最小
値の補正方式 ○大須賀 徹・中島一彰 (NEC)

NS-17. TCP 輻輳制御アルゴリズムの動的切替えによるインタ
ラクティブ通信性能改善方式の検討

○小口直樹 (総研大/富士通研)・阿部俊二 (NII)

IN3 (B 会場) (13:00~15:05)

IN-18. ユーザとアクセスポイントが協調移動するアクセスポ
イント選択方式の特性評価 ○濱本 亮 (広島市大)・

村瀬 勉 (NEC)・高野知佐・小畑博靖・石田賢治 (広島市大)

IN-19. モバイルアドホックネットワークにおける消費電力公平
化マルチチャネル経路制御 ○市川潤紀・阪田史郎・

小室信喜 (千葉大)

IN-20. 暗号化トラヒックに対するアプリケーション識別のオン
ライン化に向けた検討 ○熊野由一・阿多信吾 (阪市大)・

中村信之・中平佳祐 (OKI)・岡 育生 (阪市大)

IN-21. データベース定義にもとづく SDN の動的構成手法

○河合勇輝 (阪市大)・佐藤寧洋 (海上保安大)・阿多信吾・

岡 育生 (阪市大)

IN-22. CCN におけるエンコードアドレスを用いたコンテンツ
分散配置手法 ○北出雄麻 (阪大)・阿多信吾 (阪市大)・

村田正幸 (阪大)

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 17 日 (木), 18 日 (金) 北大 [未定] テーマ: ネット
ワークアーキテクチャ (オーバレイ, P2P, ユビキタス
NW, スケールフリー NW, アクティブ NW, NGN・新世代
NW), 次世代パケットトランスポート (高速 Ethernet, IP
over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グ
リッド, 一般

11 月 14 日 (木), 15 日 (金) 福江文化会館 (五島列島) [未
定] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測,

ネットワーク仮想化, 一般

12月19日(木), 20日(金) 高松市文化芸術ホール [10月10日(木)] テーマ: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

金子雅志 (NTT) TEL [0422] 59-2847

柴田哲良 (NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御意下下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(木), 18日(金) 阪大吹田キャンパス [締切済]
テーマ: 障害対策・BCP, 信頼性技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, 認証/ID 管理, Web サービス/SOA/ROA 基盤, ソーシャルネットワーク (SNS) 及び一般

11月21日(木), 22日(金) 熊本大 [9月13日(金)] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

12月19日(木), 20日(金) 広島市大 [10月11日(金)]
テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質 (QoS) 制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将 (NTT)

TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671

野村啓仁 (NTT)

TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できません。原稿の提出が締切日を過ぎますと投稿への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。ただし、原稿未提出の場合、講演中止とする場合があります。

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月 休会

11月13日(水), 14日(木) 登別温泉第一滝本館 テーマ: CS ワークショップ

11月14日(木), 15日(金) 登別温泉第一滝本館 [9月13日(金)] テーマ: ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般

12月5日(木), 6日(金) 京都工繊大 [未定] テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

第一種研究会開催案内

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

梅原大祐 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7471, FAX [075] 724-7400

寺田 純 (NTT)

E-mail: kanji2013@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

——信越支部における開催——

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦

幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴

幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

日時 9月24日(火) 9:30~18:00

25日(水) 9:30~15:10

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区
笹口1-1 プラウカ12階. 新潟駅南口から徒歩3分. <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> TEL [025] 262-6756 木竜 徹)

議題 ME, 一般

24日午前

1. タブレット端末操作を想定した眼球運動によるコミュニケーション装置の高精度化 ○風間郁人・堀 潤一(新潟大)・丹下 裕(舞鶴高専)
2. 電極数削減による注目部位における脳内ダイポールイメージングの検討 ○原田敏希・堀 潤一(新潟大)
3. 生体情報計測に基づいた3DTV 視聴時の感性計測 ○清水正大・中川匡弘(長岡技科大)
4. CPG ネットワークを用いた四肢歩行シミュレーション研究 ○小島 颯(新潟大)・市村智康(小山高専)・塚田 章(富山高専)・野村泰伸(阪大)・前田義信(新潟大)
5. 健康アシスト自転車におけるモード切替え閾値決定へのファジィルールの導入 ○芝原大智・宮下 収・和田成夫・植野彰規(東京電機大)
6. 閾値下振動刺激が立位バランスに与える影響 吉田正樹(阪電通大)

24日午後(13:30~)

7. 昆虫全脳シミュレーションに向けたスーパーコンピューターとのリアルタイム通信の検討 ○森 友亮・加沢知毅・宮本大輔・神崎亮平(東大)
8. 脳活動信号を用いた音声識別 ○西元 淳・吉村奈津江・地村弘二(東工大/国立神経研)・神原裕行・辛 徳(東工大)・花川 隆(国立神経研)・小池康晴(東工大)
9. 上肢到達運動におけるインピーダンス調節を考慮した消費エネルギー期待値最小化規範の検討 ○谷合由章・浪花智英(福井大)・西井 淳(山口大)
10. 一次電池としての発電機能を併せ持つ生体電極とその応用の

- 試み ○松本成史・竹内康人・柿崎秀宏 (旭川医科大)
11. ワイヤレス電極を用いた前腕の動作識別 ○工藤貴史・木竜 徹 (新潟大)
12. マトリクス電極を用いた表面筋電図による前腕の動作認識
○浅川瑞記・木竜 徹 (新潟大)
13. 視覚誘導性身体動揺時の心拍・姿勢の解析
○今村 孝 (新潟大)・原田 光・章 忠・三宅哲夫 (豊橋技科大)
14. [特別講演] 皮質脳波法による生体計測
長谷川 功 (新潟大)

25 日午前

1. 脳波のフラクタル解析を用いた多機能電話の操作性評価に関する研究
角田拓也 (長岡技科大)
2. 脳波のフラクタル性を利用した BCI へのドライ電極導入評価
○齋藤諒太・中川匡弘・近藤竹雄 (長岡技科大)
3. フラクタル次元解析による視覚刺激の判別 ○渡會慶次・中川匡弘 (長岡技科大)
4. 脳波の複数の帯域に着目した感性フラクタル解析手法 (Emotion Fractal Analysis Method: EFAM) の提案
○六ヶ所洋平・中川匡弘 (長岡技科大)
5. クラシック音楽を聴いた時の脳活動とそのクロスモダリティに関する研究
○武田美咲・中川匡弘 (長岡技科大)
6. 心拍変動と心電図のカオス解析に基づいた感性状態分類に関する研究
○大橋 正 (長岡技科大)・神保直樹・篠崎 亮 (ユニソナル)・中川匡弘 (長岡技科大)

25 日午後 (13:30~)

7. 喫食時脳波解析における誘導法及び喫食性雑音の分別と ICA を用いた分離法に関する検討
○富永 滋 (明治)・吉田 久・中迫 昇 (近畿大)
8. ガム咀嚼による集中への効果について ○揖斐拓人・中川匡弘 (長岡技科大)
9. 脳波とヘモダイナミズムの相関性に着目した解析手法の提案
○池田将士・近藤竹雄・中川匡弘 (長岡技科大)
10. 脳波のカオス・フラクタル性に基づいた認知状態・脳機能計測に関する研究
○島田 悟・中川匡弘 (長岡技科大)
- ◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter, 日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティックス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 10月10日(木) 阪電通大〔締切済〕テーマ: ME 一般
11月22日(金), 23日(土) 東北大〔9月17日(火)〕
テーマ: ME, 一般
12月 岐阜大

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中村和浩 (秋田県立脳血管研究センター)
〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-10
TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104
E-mail: knam@akita-noken.jp

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 11月22日(金), 23日(土) 東北大〔9月17日(火)〕
テーマ: ME, 一般 (MBE 研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行って下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合せ先】

山崎 匡 (電通大)
TEL [042] 443-5000 (内線 5733)
E-mail: nc@neuralalgorithm.org
12月 岐阜大

【問合せ先】

宮下真信 (沼津高専)
TEL [055] 926-5782
E-mail: miyasita@numazu-ct.ac.jp

——東海支部における開催——

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 山路隆文 副委員長 金子美博
幹事 三友敏也・篠宮紀彦 幹事補佐 越田俊介

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 池口 徹 副委員長 小西啓治
幹事 神野健哉・薄 良彦 幹事補佐 木村貴幸・原 尚之

日時 9月26日(木) 12:40~16:45

27日(金) 9:00~16:40

会場 岐阜大学サテライトキャンパス (岐阜市吉野町 6-31 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階, http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/access.html)

議題

26 日午後 回路とシステム I

- 電源/グランド TSV を含む三次元積層型電源分配回路網のブロック LIM による効率的な過渡解析 ○永田大成・關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)
- 電源分配回路網の高速過渡解析のためのマルチレート局所陰的 LIM ○北條貴亮・岡田慎吾・關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)
- 複数家庭で構成される電力システムの定置型蓄電池による出力平滑化制御に関する検討 ○山口佳彦・薄 良彦・引原隆士 (京大)
- 電気自動車の充電設備配置手法の比較評価 ○佐藤 駿・中野敬介・宮北和之 (新潟大)

非線形問題 I

- 単相 PWM DC-AC インバータにおけるスイッチング位相決定法の検討 ○森田和也・神野健哉 (日本工大)
- スイッチング遅延を有する重区分線形系の解析 ○西村明日翔・坪根 正 (長岡技科大)
- 結合振動子系におけるエネルギー吸収率を支配する位相に関する考察 ○窪田まど華・引原隆士 (京大)

回路とシステム招待講演 I

- [招待講演] β 変換器の量子化誤差に関する理論的解析
○牧野貴樹 (東大)・岩田友紀子 (気象大)・實松 豊 (九大)・堀田正生・傘 昊 (東京都市大)・合原一幸 (東大)

27 日午前 非線形問題 II

- 動的バイナリニューラルネットワーク: 周期系列の銘記と安定化
○上月良太・斎藤利通 (法政大)
- 相互結合型ニューラルネットワークを用いたパケットルーティング手法に関する一考察 ○高見沢 透・木村佳佑

木村貴幸・神野健哉（日本工大）

3. A Method of Clock Synchronization for Power Packet Dispatching—Parameters Optimization in Clock Synchronization—
○Yanzi Zhou・Ryo Takahashi・Takashi Hikiyara (Kyoto Univ.)

4. 所望の ISI のスパイク列を呈する区分定数カオス発振器のパラメータ学習法について
○古澤竜郎・坪根 正（長岡技科大）

5. マルチスクリューカオスとダイバーシティ
○木村一行・齋藤利通（法政大）

回路とシステム招待講演Ⅱ

6. [招待講演] 負荷容量均一化対称構造断熱的論理回路 CSSAL—論理回路設計と暗号回路設計の事例—

○高橋康宏・モンテイロ カンシオ・関根敏和（岐阜大）

27 日午後 回路とシステムⅡ（13：10～）

7. サブスレッショルド領域で動作する断熱的論理回路の動作検証
○加藤和成・高橋康宏・関根敏和（岐阜大）

8. メモリスタを用いたシナプス回路への断熱動作の評価
○尾形治城・高橋康宏・関根敏和（岐阜大）

9. LSI Implementation of a Secure Low-Power CSSAL Cellular Multiplier
○Cancio Monteiro・Yasuhiro Takahashi・Toshikazu Sekine (Gifu Univ.)

10. 可変ステップサイズを用いた適応 IIR ノッチフィルタの性能解析
○土肥一就・肖 業貴（県立広島大）・長谷川浩治（広島県総技研）

非線形問題Ⅲ

11. 4 次元重区分線形系が呈するハイパカオスの分岐現象の解析
○柳澤健太郎・坪根 正（長岡技科大）

12. 帯電振子を利用した非線形多体系の集団現象
○松岡 侖・庄司多津男（名大）・秦 浩起（鹿児島大）

13. 定電力負荷を伴う直流マイクログリッドシステムの分岐解析
○小西啓治・杉谷栄規・原 尚之（阪府大）

14. 多変量時系列に対する共分散構造分析と粒子フィルタを用いた大規模非線形システムにおける状態推定

時永祥三（九大）・○池田欽一（北九州市大）

☆CAS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 6 日（水）、7 日（木） 花巻温泉〔未定〕テーマ：グラフ、ペトリネット、ニューラルネット及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

三友敏也（東芝）

TEL [044] 548-2341, FAX [044] 548-8324

E-mail : toshiya.mitomo@toshiba.co.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3 月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員（申し込み中でも可）の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆NLP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 28 日（月）、29 日（火） サンポートホール高松〔締切済〕テーマ：一般

12 月 6 日（金）、7 日（土） City Univ. of Hong Kong [10 月 16 日（水）] テーマ：一般

第一種研究会開催案内

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

神野健哉（日本工大）

TEL [0480] 33-7659, FAX [0480] 33-7680

E-mail : jinno@nit.ac.jp

◎非線形問題研究専門委員会では、非線形分野の研究奨励を目的として「非線形問題研究会優秀発表賞」を制定しました。これは本年度非線形問題研究会で発表された口頭発表論文の中から優秀なものを選定し、著者全員を表彰するものです。受賞資格は本年度非線形問題研究会で発表され、第一著者及び発表者が電子情報通信学会会員（申し込み中でも可）であることです。優秀発表賞受賞発表論文は IEICE 和文論文誌もしくは NOLTA 誌に NLP 研究専門委員会推薦論文として推薦できます。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

——北陸支部における開催——

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 高橋 玲 副委員長 板倉英三郎・矢守恭子

幹事 岡本 淳・平栗健史 幹事補佐 山崎康広

★モバイルネットワークとアプリケーション研究会(MoNA)

専門委員長 井上真杉 副委員長 森野博章

幹事 北形 元・金子晋丈

幹事補佐 小林基成・上坂大輔・大和田泰伯

◎本研究会は CQ 研究会と MoNA 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9 月 12 日（木） 8：30～18：15

13 日（金） 8：30～17：35

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス（石川郡野々市町扇が丘 7-1. JR 金沢駅からバス 30 分程度。 http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html 中沢 実）

議題 無線 LAN, M2M/センサネットワーク, P2P/アドホックネットワーク, モバイルアプリケーションとサービス, オフロード技術, 映像配信, 及びこれらの品質と省電力化, 一般
12 日午前

CQ-1. ジャンル学習に基づく SNS 画像推薦の実装と評価

○神谷 優（早大）・矢守恭子（朝日大）・田中良明（早大）

CQ-2. 遠隔協調作業環境において伝搬遅延が協調作業に及ぼす影響
○北端美紀・持田康弘・仲地孝之・藤井竜也（NTT）

CQ-3. 音声・ビデオ IP 伝送における音声とビデオの時間・空間品質が QoE に及ぼす影響
○小野浩史・布目敏郎（名工大）

CQ-4. 通信ネットワークにおけるカスケード故障発生時の被災規模評価法の検討
○原 一希・林 正博（東京都市大）

CQ-5. 通信ネットワークの故障頻度過渡解析法の検討

○鴻上 翼・林 正博（東京都市大）

MoNA-6. ソーシャルグラフを用いたデバイス管理システムの検討
○新庄泰大・小坂隆浩（同志社大）

MoNA-7. 移動中継ノードを利用した DTN 環境の構築

○多氣真之輔・小坂隆浩（同志社大）

MoNA-8. Android 端末を用いた Bluetooth MANET における探索・接続周期決定手法
○武田航史・角田良明（広島市大）

MoNA-9. 異種 MANET 環境におけるサービス情報の収集・配布のためのモバイルエージェントの移動機構 ○石塚秀平・大田知行・角田良明 (広島市大)

12 日午後 (13:10~)

CQ-10. MRSON: An Design of Energy-efficient Resource Sharing Overlay Network in Mobile Cloud Computing

○Wei Liu・Ryoichi Shinkuma・Tatsuro Takahashi (Kyoto Univ.)

CQ-11. 端末密度推定を用いた確率的蓄積運搬型ルーチング ○木村共孝・松田崇弘・滝根哲哉 (阪大)

CQ-12. 低遅延型 M2M を想定したイーサネット PON 伝送技術の提案 ○田所将志・村山大輔・鈴木謙一・吉本直人 (NTT)・久保亮吾 (慶大)

CQ-13. フローキャッシュ搭載ネットワークプロセッサにおけるアプリケーションに基づいた分割キャッシュの提案

○八巻隼人・西 宏章 (慶大)

共通-14. [招待講演] スマートコミュニティの行方と通信インフラがなすべきこと 西 宏章 (慶大)

共通-15. [招待講演] 未定 調整中

13 日午前

CQ-1. IEEE802.11 無線 LAN システムにおける後段 IFS を用いた衝突低減方式 ○岸田 朗・岩渕匡史・新宅俊之・阪田 徹 (NTT)

CQ-2. IEEE 802.11n 無線 LAN 上の TCP 通信における大幅なレート変更時の遅延増加の改善手法 ○野元祐孝・加藤聰彦・策力木格・大坐昌 智 (電通大)

CQ-3. MU-MIMO 伝送における送信タイミング管理方法の検討 ○小川知将・平栗健史・吉野秀明・神野健哉 (日本工大)

CQ-4. セルラ及び Wi-Fi の同時利用による Web 体感品質向上の検討 ○安田浩人・森岡康史・森広芳文・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

共通-5. [招待講演] P2P ライブ映像配信システムによるサービス実験 ○遠藤洋介・西村 敏 (NHK)

共通-6. [特別講演] Development of Mobile Network in DOCOMO ○山田 暁・萩原淳一郎 (NTT ドコモ)

共通-7. [特別講演] 高速無線 LAN 規格 IEEE802.ac の動向と今後の発展に対する課題 ○篠原笑子・井上保彦・浅井裕介・B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・溝口匡人 (NTT)

共通-8. [特別講演] 国際会議報告 (ICC 2013)

村瀬 勉 (NEC)

13 日午後 (13:40~)

MoNA-9. LED とカメラを用いた無線 LAN メディアアクセス制御 ○西岡 良・西尾理志・守倉正博・山本高至 (京大)

MoNA-10. スマホを用いたスマートオンデマンドバスの研究—スマートウォーカーアシストシステム—

郡 武治 (静岡理工科大)

MoNA-11. 近距離無線を用いた交差点安全支援

宇野新太郎 (愛知工科大)

MoNA-12. ユーザ協調型説得システムの提案 ○石塚宏紀・上坂大輔・村松茂樹・小野智弘 (KDDI 研)

MoNA-13. 2 段階モデルを活用した消費電力量からの世帯人数推定手法 ○多屋優人・小野智弘 (KDDI 研)

CQ-14. 無線 LAN における省電力 TCP データ転送方式の実験評価 ○橋本匡史・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

CQ-15. スマートフォンサービスに対するユーザ意識分析

○吉村憲子・増田征貴 (NTT)

CQ-16. モバイル通信アプリケーション品質のフィールド測定に関する一検討 ○遠藤直人・青木仁志・野尻秀樹・高橋 玲 (NTT)

CQ-17. 遠隔制御システムにおけるネットワーク遅延の変化が力の知覚に及ぼす影響と知覚モデル ○松永一希 (名工大)・大西 仁 (放送大)・石橋 豊 (名工大)

◆12 日議題 14. と 15. は情報処理学会; マルチメディア通信と分散処理研究会/グループウェアとネットワークサービス研究会/電子化知的財産・社会基盤研究会連催

◎12 日 16:45~18:15 に信学会・情処学会合同企画として、金沢工業大学「夢考房」見学を行います。

◎12 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 14 日 (木), 15 日 (金) 福江文化会館 (五島列島) [未定] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワーク仮想化, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

平栗健史 (日本工大)

TEL [0480] 33-7658, FAX [0480] 33-7680

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆MoNA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 熊本大 [9 月 13 日 (金)] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鶴岡行雄 (NTT), 榎原 茂 (奈良先端大)

E-mail: momuc-sec-contact@mail.ieice.org

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 弘中哲夫 副委員長 渡邊 実・本村真人

幹事 山田 裕・山口佳樹 幹事補佐 谷川一哉

日時 9 月 18 日 (水) 14:20~17:50
19 日 (木) 9:00~16:05

会場 北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 講義棟 (能美市旭台 1-1. http://www.jaist.ac.jp/general_info/access/index.html 佐藤幸紀)

議題 リコンフィギャラブルシステム, 一般

18 日 基調講演

1. [招待講演] 画像認識プロセッサの研究 深山正幸 (金沢大) 数値計算と高速化

2. リコンフィギャラブルハードウェアを用いた高速ストリーム処理の一検討 ○福田エリック駿 (北大)・川島英之 (筑波大)・井上浩明 (NEC)・藤井太郎・

古田浩一朗 (ルネサスエレクトロニクス)・浅井哲也・本村真人 (北大)

3. フラクショナルステップ法に基づく非圧縮性流体計算専用の
ストリームプロセッサの設計と評価 ○千葉諒太郎・
鈴木隼人・伊藤 涼・佐野健太郎・山本 悟 (東北大)

4. FPGA アクセラレータを用いた三次元ステンシル計算におけ
る電力性能モデルの検討 ○土肥慶亮・福本航太・
柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

リコンフィギャラブルアーキテクチャ(1)

5. 低消費電力プロセッサのための限定的動的再構成アーキテク
チャ ○平尾岳志・金 多厚・肥田 格・浅井哲也・
本村真人 (北大)

6. 相変化物質を用いた不揮発性再構成型デバイス開発プラット
フォーム ○道田拓巳・谷川一哉・弘中哲夫 (広島市大)・
石黒 隆・下舞賢一 (太陽誘電)

19日午前 リコンフィギャラブルアーキテクチャ(2)

1. FD-SOIを用いた超低電力アクセラレータの実チップ評価
○蘇 洪亮・王 蔚涵・北森邦明・天野英晴 (慶大)

2. シヤノン展開された部分関数の特徴に基づく少構成メモリ
LUT ○柳田恭成・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・
末吉敏則 (熊本大)

3. 再構成型デバイス MPLD におけるバストランジスタ・ロジッ
クによる面積削減の検討 ○吉田雄揮・道田拓巳・谷川一哉・
弘中哲夫 (広島市大)・石黒 隆・下舞賢一 (太陽誘電)

高位合成と開発環境

4. 高位合成ツール JavaRock による倒立振子制御処理の高速化
○植竹大地・大川 猛 (宇都宮大)・
三好健文 (イーツリーズ・ジャパン)・横田隆史・大津金光 (宇都宮大)

5. Hw/Sw 複合体作成システムの研究 ○荻島裕一・
関根優年 (東京農工大)

6. 組込みシステムにおける再構成時間を考慮した低消費電力指
向の設計フレームワークの提案 ○荒木光一・佐藤幸紀・
井口 寧 (北陸先端大)

19日午後 FPGA 応用

7. 3次元FPGA アレイ Vocalise の回路構成に関する研究
○久保泰正・黎 江・集 祐介・小笠原 麦・
関根優年 (東京農工大)

8. PEACH2におけるパイプライン実行の検討 ○宮島敬明・
久原拓也 (慶大)・デビッド トーマス (イバリアル)・
埴 敏博 (筑波大)・天野英晴 (慶大)

9. 並列EVMDD(k)マシンを用いたバケット分類器に関して
○中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤 (明大)・
松浦宗寛 (九工大)

10. FPGA プロトタイプ向けメモリ管理フレームワークの
開発 ○高前田(山崎) 伸也 (東工大/学振)・
吉瀬謙二 (東工大)

動的再構成

11. 動的部分再構成による連想メモリ内エントリの定数化の検討
○請園智玲・荒木光一 (北陸先端大)

12. 光再構成型ゲートアレイへの色構成手法 ○藤森卓巳・
渡邊 実 (静岡大)

13. 光再構成型ゲートアレイへの可変サイズスポット構成手法
○赤木昂太・渡邊 実 (静岡大)

◆北陸先端科学技術大学院大学情報社会基盤研究センター後援

◎18日9:00~14:00にFPGA デザインコンテストを開催します。

◎18日18:00以降に「たがわ龍泉閣」での懇親会を計画してい
ます。宿泊申込みを含め、今後、懇親会申込みホームページの

第一種研究会開催案内

リンクを準備致します。

◎企業展示を実施致します。

(株)イーツリーズ・ジャパン (<http://e-trees.jp/>)

東京エレクトロン デバイス(株) (<http://www.teldevice.co.jp/>)

☆RECONF 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月27日(水)~29日(金) 鹿児島県文化センター [未定]

テーマ: デザインガイア 2013—VLSI 設計の新しい大地—

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡邊 実 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1096

E-mail: tmwatan@ipc.shizuoka.ac.jp

— 関西支部における開催 —

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 新井田 統・渋谷 進・水科晴樹

幹事補佐 清河幸子・望月理香

日時 9月12日(木) 14:00~17:40

13日(金) 9:30~15:55

会場 情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所
(NICT けいはんな) 2F TV 会議室 (大画面実験室) (相楽郡精
華町光台3-5. JR 学研都市線: 祝園駅, 近鉄京都線: 新祝園
駅から奈良交通バス約15分, または近鉄けいはんな線: 学研
奈良登美ヶ丘駅から奈良交通バス約15分. [http://www.nict.
go.jp/about/univ-com_map.html](http://www.nict.go.jp/about/univ-com_map.html) TEL [0774] 98-6411 水
科晴樹)

議題 「眼球運動と知覚」, 「眼球運動の制御・計測」, 「調節・瞳
孔の機能」, 及びヒューマン情報処理一般

12日

1. 単眼カメラを用いた瞳孔中心と虹彩輪郭に基づく眼球回転中
心位置の推定 ○瀬戸康博・疋田真一・小林康秀・
小野貴彦・齊藤充行 (広島市大)

2. 頭部に装着した超小型カメラを用いた輻輳性眼球運動の計測
○加藤拓真・疋田真一・小林康秀・小野貴彦・
齊藤充行 (広島市大)

3. 高速撮影カメラを用いた汎用リアルタイム眼球運動計測シス
テム ○松田圭司 (産総研)・河野憲二・三浦健一郎 (京大)

4. [招待講演] 多人数の視線分布による番組コンテンツの分析
小峯一晃 (NHK)

13日午前

1. 回旋性視運動性眼球運動と後眼振 平田 豊 (中部大)

2. 眼の焦点調節特性に基づいて漢字文書を読み易くする最適行
間隔の理論的導出 ○石川直人・宮田知美・
松井利一 (群馬大)

3. 長時間の立体映像視聴時における輻輳と調節の同時計測
○吉川一輝・小島健仁 (名大)・高田宗樹 (福井大)・
宮尾 克 (名大)

4. [招待講演] The perceptual consequences of vergence eye
movements Robert S. Allison (York Univ.)

13日午後 (13:30~)

5. [招待講演] 眼球情報を用いた人間行動の分析

告 23

中山 実 (東工大)

6. 大きな網膜像差を処理するメカニズムの速度同調性

○佐藤雅之 (北九州市大)・須長正治 (九大)

7. 盲点における運動線分のフィリングインの際の事象関連電位

○蘭 悠久 (島根大)・青野直也・福田玄明・
植田一博 (東大)・北岡明佳 (立命館大)

8. 有効視野に最適化された読書インタフェースの読み効率評価

○小林潤平・関口 隆・新堀英二 (大日本印刷)・
川嶋稔夫 (公立はこだて未来大)

◆日本光学会視覚研究グループ共催

◎12日研究会終了後、NICT ラボツアーと懇親会を予定して
ますので御参加下さい。

【問合先】

水科晴樹 (NICT)

TEL [0774] 98-6411, FAX [0774] 98-6967

E-mail: mizushina@nict.go.jp

——中国支部における開催——

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 赤倉貴子 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・光原弘幸 幹事補佐 東本崇仁・森本容介

日時 9月28日 (土) 10:00~16:45

会場 広島大学東広島キャンパス教育学部L棟1階L102室 (A
会場)・L104室 (B会場) (東広島市鏡山1-1-1. 広大北口バ
ス停より徒歩5分 (広大中央口バス停からは徒歩10分).
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/higashihiroshima/>
TEL [082] 424-5629 渡辺健次)

議題 学習支援システムの新展開/一般

A (L102) (10:00~11:50)

1. 「QRコード」及び「FeliCa Lite カード/シール」を利用した
デジタル教材の簡易表示システムの開発

榎本 聡 (国立教育政策研)

2. ARとHMDを用いた実世界Edutainmentシステム

○光原弘幸・岩間智視・角川隆英 (徳島大)・
田中一基 (近畿大)

3. Methods and Algorithms for Automatic Slicing of Screen
Capture Video using Slide PDFs

○Marat Zhanikeev・
Hiroshi Koide (Kyushu Inst. of Tech.)

4. オンライン配布資料へのノート機能自動付与システムの試作
と活用

○星野裕樹・谷村 祐・西村広光・示野浩士・
納富一宏 (神奈川工科大)

B (L104) (10:10~11:50)

5. 練習問題レコメンドエンジンの効果分析

飯高敏和 (熊本学園大)

6. Hybrid-P2P 技術を活用した研究室内資料共有システムにお
けるインデックスサーバ登録時のキーワード自動付与機能の開
発

○管納雅人・井口信和 (近畿大)

7. Web 調べ学習における課題展開の示唆方法とその有効性

○木下恵太・柏原昭博 (電通大)

8. e-learning ガイドエージェントの姿勢変更による学習への引
き込み効果の測定

○長谷川 大・佐久田博司 (青学大)

午後 1A (L102) (13:00~14:40)

9. 利き側動作を手本として非利き側動作の学習支援を行うため

の左右差の分析

○廣田一樹・曾我真人・
瀧 寛和 (和歌山大)

10. 楽曲演奏行為を伴う和声学における基本位置3和音配置課題
学習—学習の方法と流れの詳細化—

○野口佳葉・
松原行宏・岡本 勝 (広島市大)

11. 書字困難児を対象とした漢字手書き学習支援システムの開発
と小学校での実践

○井上朋美・中村理美・中島範子・
園田貴章・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

12. 特別支援学校向け学習支援アプリの開発

○藤澤義範・
伊藤祥一・清水省吾 (長野高専)

1B (L104) (13:00~14:40)

13. 力学モデルの直観的理解と設計知識の相関

佐久田博司・
○長谷川 大 (青学大)

14. IP ネットワーク構築演習支援システムの自動採点機能の開
発

○北澤友基・井口信和 (近畿大)

15. タブレット端末によるシステムが学習評価の計画・実施に与
える影響

○三浦利仁・谷田親彦 (広島大)

16. 顔画像認識によるユーザ選択機能を実装した相互評価端末の
実装と評価

○山下 淳 (筑波大)・加藤 浩 (放送大)・
葛岡英明 (筑波大)・鈴木栄幸 (茨城大)

2A (L102) (14:55~16:45)

17. アルゴリズム的思考法教育を支援するビジュアルプログラミ
ング環境の運用と評価

○小林 慶・國宗永佳・香山瑞恵・
新村正明 (信州大)

18. アルゴリズムの学習におけるノートリビルディングシステム
の実践

○東本崇仁 (東京理科大)・平嶋 宗 (広島大)

19. プレゼンテーション・スキルアップシステムにおける音声の
自動評価

○原田和樹・和田守美穂 (松江高専)

20. プレゼンテーションドキュメント診断支援システムの設計

○柴田康生・柏原昭博 (電通大)・長谷川 忍 (北陸先端大)

2B (L104) (14:55~16:35)

21. ニンテンドーDSを用いた英語学習に関する一考察

○伴 浩美 (福井工大)・皆川 順 (山陽学園短大)

22. 学習者のレベルと特性に応じた学習コースを備えた日本語発
音学習システムの開発—音声認識による発音自動評価の実現—

○松永 悟・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

23. 携帯端末を用いた対話型日本語学習支援システムの開発

○豊田真也・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

24. Relationism-First で文理融合へ向かう Blended Learning の
一局面—個から関係態へ移りゆく時間像と共に—

○藤田幸史 (尾道市大)・太田光雄 (元広島大)・
生田 顕 (県立広島大)・河尻義孝 (日の丸産業)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

◎研究会終了後、懇親会の開催を予定しております。下記問合先
までお問い合わせ下さい。

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月19日 (土) 富山大五福キャンパス [締切済] テーマ:
LMSとe-ポートフォリオ/一般

11月16日 (土) 会津大 [9月13日 (金)] テーマ: Internet
of Things と学習支援/一般

1月11日 (土) 目白大 [11月8日 (金)] テーマ: スキル教
育と学習支援環境/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

國宗永佳 (信州大)

TEL & FAX [026] 269-5502

E-mail : kunimune@shinshu-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

——九州支部における開催——

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 山元規靖・茂木 学 幹事補佐 小館亮之

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之

幹事 久保田 彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 三功浩嗣・松尾翔平

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 越前 功 副委員長 新見道治・西村竜一

幹事 鶴木祐史・川村正樹 幹事補佐 栗林 稔・小嶋徹也

日時 9月12日(木) 13:05~17:00

13日(金) 9:40~15:10

会場 東海大学熊本キャンパス (熊本市東区渡鹿9-1-1, JR:熊本駅からJR豊肥本線:東海学園前駅下車(約13分), 駅正面, <http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/kumamoto/>)

議題 マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

12日

LOIS-1. 個人向けセンサボックスのための実装フレームワーク考察 ○大櫛章裕・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀(神戸大)

LOIS-2. 赤外線 Motion センサーを利用した屋内プレゼンスセンシングの一手法 ○樫尾勇樹・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀(神戸大)

LOIS-3. NiceCover: A Serverless Webapp for Crowdsourcing Data Extraction and Knowledge Generation on Top of Scientific Portals Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

EMM-4. インデックスカラーのクラスタリングを用いた大容量情報埋込み法 ○谷口敢一・今泉祥子・青木直和・小林裕幸(千葉大)

EMM-5. カラーマップの色変換を用いた限定色画像に対する情報半開示法 ○戸部悠人・今泉祥子・青木直和・小林裕幸(千葉大)

EMM-6. ウェアラブルカメラを用いた手書きノートの電子化 ○渡邊栄治(甲南大)・尾関孝史(福山大)・小濱 剛(近畿大)

EMM-7. 分散情報のサイズを考慮したQRコードにおける秘密分散法 ○倉元雅樹(阪大)・河野和宏(関西大)・伊藤義道(阪電通大)・馬場口 登(阪大)

EMM-8. SNS投稿におけるプライバシー漏洩の検出とプライバシーセンシティブワードの拡張 ○町田史門(総研大)・嶋田 茂(産技大)・越前 功(NII)

EMM-9. [招待講演] 食のライフログの展開 相澤清晴(東大) 13日午前

LOIS-1. 野鳥の鳴き声の自動認識による未知の渡り鳥の飛来感知 ○西 宏之・木村義政(崇城大)

LOIS-2. Hough変換による瞳検出を用いた正面顔映像から得られる瞳の動きによる心理状態推定 ○鶴見亮介・青木恭太(宇都宮大)

LOIS-3. 仮想クライアントシステム向け負荷制御方法の提案 ○梅澤克之・後藤弘美(日立)

LOIS-4. ユーザの選択インタフェースの現在の状態からリアルタイムに推測するヘルプ・リコメンドシステムの検討

○川端祐人(NTT)・顧 寧(復旦大)・増田 健・丸山 勉(NTT)

5. 地上デジタル放送における映像向けモバイル電子透かしの実証実験 ○安藤慎吾・山本 奏・筒口 拳・片山 淳・谷口行信(NTT)

6. 安全なハードウェア設置工事のためのARと指認識によるフィールド作業支援システム ○松尾賢治・内藤 整(KDDI研)

13日午後

7. 電力系統運用に用いる伝送符号化方式の一検討 ○片岡晃佑・織田健志・花 海丞(通研電気)・佐々木範雄(東北電力)

8. スマートグリッド共通通信基盤の開発 岩淵宏信・田村 章・高橋直雅・渡部秀和(九州電力)・宮本 敦・齋藤高志(KDDI)

13日午後 IE (13:50~15:10)

IE-9. 頭部CTA・MRA画像からの脳血管領域の抽出 ○前田真也・山村雄太郎・金 亨燮・タン ジュークイ・石川聖二(九工大)・山本晃義(戸畑共立病院)

IE-10. 非等方距離による幾何学的NPR:バイラテラル距離と接平面距離 胡 忠英・于 子涵・井上光平・浦浜喜一(九大)

IE-11. エネルギー保存を考慮した画像の線形変換法 ○山内 仁・尾崎公一・佐藤洋一郎・福田忠生・小武内清貴(岡山県立大)

IE-12. 多視差裸眼3D表示を目的とした多視点カメラ間の奥行画像生成 ○三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)

◆電気学会;通信研究会,映像情報メディア学会;メディア工学研究会連催

☆LOIS研究会今後の予定 []内発表申込締切日

11月28日(木),29日(金) 東北大[9月16日(月)] テーマ:情報セキュリティ,ライフログ活用技術,ライフインテリジェンス,オフィス情報システム,一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山元規靖(福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail : nori@fit.ac.jp

☆IE研究会今後の予定 []内発表申込締切日

10月7日(月),8日(火) 弘前大コラボ弘大[締切済] テーマ:システムLSIの応用とその要素技術,専用プロセッサ,プロセッサ,DSP,画像処理技術,及び一般

12月5日(木),6日(金) 京都工繊大[未定] テーマ:画像

符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

市ヶ谷敦郎 (NHK)

E-mail : ie-kanji2013@mail.ieice.org

☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月14日(木), 15日(金) 県立広島大〔未定〕テーマ: 異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索, 電子透かし, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 竹内純一 副委員長 大濱靖匡

幹事 野村 亮・日下卓也 幹事補佐 井坂元彦

日時 9月27日(金) 9:00~15:20

会場 カルチャーリゾートフェストーン (宜野湾市真志喜 3-28-

1. 沖縄自動車道西原 IC から: 車 (一般道) で約 15 分。路線バスでコンベンションセンター前バス停から徒歩約 5 分。

<http://festone.jp/content/view/21/36/> TEL [098] 898-1212 八木秀樹)

議題 誤り訂正符号, 一般

- Upper Bounds on the Average Probability of Undetected Error for the Ensembles of both Product and Concatenated Codes ○Toshihisa Nishijima (Hosei Univ.)・Kin-ichiroh Tokiwa (Osaka Sangyo Univ.)
- A Soft-Decision Sphere Decoding Based on Recursive Vector Generator Using Euclidian Distance ○Takuya Kusaka (Okayama Univ.)・Toru Fujiwara (Osaka Univ.)・Ryuhei Yokoyama (Okayama Univ.)
- Iterative Multiuser Joint Decoding based on Augmented Lagrangian Method ○Shunsuke Horii・Tota Suko・Toshiyasu Matsushima・Shigeichi Hirasawa (Waseda Univ.)
- 通信路符号化とシングルフレーム超解像 ○高木美里・川喜田雅則・竹内純一 (九大)
- 消失誤りを伴う Invertible Bloom Lookup Tables の性能評価 ○湯川大地・和田山 正 (名工大)
- 並列復号に適したプロトグラフ又状態接続型空間結合符号 ○大槻哲央・和田山 正 (名工大)
- シフトを用いた噴水符号 野崎隆之 (神奈川大) 午後 (13:30~)
- 〔招待講演〕メモリと制約符号 鎌部 浩 (岐阜大)
- Finite Type Constrained Systems for Flash Memories Akiko Manada (Univ. of Electro-Comm.)
- q 元ハミング符号の並列復号器における演算回数について ○大島怜也・岩田賢一 (福井大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎誤り訂正符号のワークショップ (9/25~9/27) 併催

◎宿泊などの情報はワークショップのホームページを御覧下さい

<http://manau.jp/WS/ECCWS/>

☆IT 研究会今後の予定

11月26日(火) 伊東ホテル聚楽 テーマ: 若手研究者のための講演会 (招待講演のみ)

【問合せ先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐

E-mail : it-sec@mail.ieice.org

—今後の予定—

★フォトリックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 坂野寿和

副委員長 荒木壮一郎・大木英司・戸出英樹

幹事 荒川伸一・長谷川 浩 幹事補佐 品田 聡・釣谷剛宏

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 白井 宏 副委員長 佐藤源之

幹事 柴崎年彦・平山浩一 幹事補佐 中嶋徳正

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太

幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田随道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 大貫進一郎・柴山 純 幹事補佐 陳 春平・千葉英利

★マイクロ波・ミリ波フォトリック研究会 (MWP)

専門委員長 岩月勝美 副委員長 門 勇一・寶迫 巖

幹事 関根徳彦・戸田裕之 幹事補佐 川西哲也・米本成人

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 同志社大 (今出川) [11月1日(金)] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数(波長)帯デバイス, フォトリック NW・デバイス, フォトリック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般 (電気学会; 電磁界理論技術委員会連催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

・PN 研究会

荒川伸一 (阪大)

E-mail : arakawa@ist.osaka-u.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

E-mail : hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

・EMT 研究会

平山浩一 (北見工大)

E-mail : emt-secretary@ns.ieice.org

・OPE 研究会

橋本俊和 (NTT)

E-mail : ope-kanji@mail.ieice.org

・LQE 研究会

田中 有 (富士通研)

E-mail : yu_tanaka@jp.fujitsu.com

- ・EST 研究会
大貫進一郎 (日大)
E-mail: est-query@mail.ieice.org
- ・MWP 研究会
関根徳彦 (NICT)・戸田裕之 (同志社大)
E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org
- ・電気学会: EMT 研究会 [連催]
尾崎亮介 (日大)
E-mail: ozaki@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第2回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦 (古河電工) 副委員長 横井秀樹 (芝浦工大)
日時 平成25年10月17日(木) 13:30~17:35 (予定)
(受付開始時間 13:10~)

会場 法政大学小金井キャンパス南館7階会議室 (小金井市梶野町3-7-2. JR中央線:東小金井駅. <http://www.hosei.ac.jp/access/koganei.html>)

テーマ 微細加工のための光技術, 光技術のための微細加工
第2回研究会を下記の内容で開催します。

光技術はリソグラフィ技術をはじめ, 半導体集積回路における微細化の飛躍的発展を支えており, 更なる微細化も含め, その研究開発は一層重要性を増してきています。そして, シリコンフォトニクスに代表されるようにリソグラフィ技術の進展により産業化に有利なプロセスを用いて高精度で低損失な光デバイスの実現も可能になっています。今後も最先端リソグラフィ技術は高精度かつ高機能な集積光回路デバイスの開発のために重要な技術と考えられます。また, ナノインプリント技術はフォトニック結晶などのナノスケール構造を有する光デバイスを製品化につなげる有効な技術であり, ナノインプリントを活用した製造技術の研究開発にも注目が集まっています。第2回集積光デバイスと応用技術研究会では, 微細加工のための光技術並びに光デバイス開発のための微細加工技術に関連する講演として, 極限リソグラフィ技術とナノインプリント技術に関する講演を行います。多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム (予定)

- [招待講演] リソグラフィ技術の発展とEUVリソグラフィ技術の現状 岡崎信次 (ギガフォトン)
- [招待講演] ArF液浸リソグラフィとダブル/マルチバターニング 内山貴之 (東芝)
- [招待講演] マルチバターニング技術による微細加工の可能性 八重樫英民・小山賢一・山内祥平・原 亜梨沙・名執桜子・大和雅俊 (東京エレクトロ)
- [招待講演] ブロックコポリマーによるDSA (Directed Self-assembly) リソグラフィ 東 司 (EUVL基盤開発センター)
- [招待講演] ナノインプリント法による微細加工の基礎と光学要素への応用 平井義彦 (阪府大)
- [招待講演] LSIデバイス量産用ナノインプリントリソグラフィ装置の状況 和田英之 (エレキテック・インテック)
- フリーディスカッション

参加資格 特に関いません

参加申込 研究会開催当日, 会場にて受け付けます (事前申し込み不要)

参加費 一般参加者5,000円, 学生1,000円

【研究会に関する問合せ先】 [第2回研究会担当委員]

中津原克己 (神奈川工科大)

TEL [046] 291-3276

E-mail: knakatsu@ele.kanagawa-it.ac.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

向原智一 (古河電工)

TEL [0436] 42-1771

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●ワークショップ「結合共振型ワイヤレス電力伝送の基礎—電磁界からのアプローチ。電磁誘導との違いは?—」

アンテナ・伝播研究専門委員会では, 関連する研究専門委員会と連携して, 1994年度から第二種研究会「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を46回にわたり開催してきました。このたび, アンテナ・伝播研究専門委員会では, 現在ホットな話題を取り上げるワークショップとして「アドバンスドワイヤレスシリーズ」を立ち上げ, その第1回として『無線電力伝送』に関するワークショップを開催致します。本ワークショップでは, 無線電力伝送分野において, 第一線で活躍する技術者が, 基礎から応用まで実例を挙げながら詳細に解説します。なお, 講演資料を製本し, 当日配布します。興味をお持ちの方の御聴講をお待ちしております。

講師: 菊間信良・平山 裕 (名工大)

講義概要

MITによって提案された結合共振型技術をきっかけとして無線電力伝送に注目が集まっています。電磁誘導に基づくものは“qi”など, 既に実用化が始まっています。一方, 結合共振型については, 実用化のためには解決すべき課題が多いのが現状です。本ワークショップでは, 電磁誘導に基づく結合共振型無線電力伝送技術を紹介した上で, 結合共振型無線電力伝送の基礎を, 様々な観点から整理します。

講義内容: 本講義では, 以下の項目に沿って講習を進めます。

- (1) 電磁誘導としての無線電力伝送
- (2) 結合共振型無線電力伝送のための基礎
- (3) 結合共振型無線電力伝送の実際

日時 平成25年11月1日(金) 9:30~17:30 (予定)

会場 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り501号室
(http://abc-kaigishitsu.com/tokyo_yaesudori/)

受講定員: 100名

受講料: 会員20,000円, 非会員30,000円 (資料代込, 学生料金は設定しておりません)

受講申込期間: 9月2日(月)~10月15日(火) (予定)

先着順です。満員になり次第, 締め切ります。期日前の申し込みは無効です。

受講申込方法: アンテナ・伝播研究専門委員会ホームページ上のフォームもしくは, 下記方法で電子メールにて申込んで下さい (郵送, 電話申込不可)。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/aws1>

【電子メールによる受講申込先】

メールにて所属・氏名・申し込み種別（会員（要会員番号）・非会員）を ap_ac-aws1-appl@mail.ieice.org へお送り下さい。先着順に振込案内を返信致します。満席になり次第、締め切ります。

- ・会員価格での受講を希望される方は、受講申込に会員番号の記載が必要になりますので、御注意下さい。
- ・学会への入会手続き中の方は、学会へ提出した入会申込書のコピー等、入会を確認できる資料の提出をお願いします。入会に関する情報は下記の URL を御参照下さい。

電子情報通信学会入会案内：<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

【問合先】

第1回アドバンスドワイヤレスシリーズ実行委員会

総務幹事 石井 望（新潟大）

E-mail：ap_ac-aws1-secretary@mail.ieice.org

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 IEEE AP-S Japan Chapter

●第25回電気・電子機器のEMCワークショップ

委員長 多氣昌生（首都大東京）

電気・電子機器のEMCワークショップ（湯沢ワークショップ）も、皆様のおかげをもちまして今年で第25回を迎えることができました。本ワークショップは、日本におけるEMC開発の活性化を目的に、大学・官公庁・企業の研究者、技術者など、EMCに関心をお持ちの方々が一堂に会し、活発な議論・意見交換を行うことを目的として1989年に第1回が開催されました。それから四半世紀、産、官、学の第一線で御活躍されている多くの講師の方々をお迎えし、様々な視点からEMC問題への対応技術に関して御講演頂くとともに、参加者の皆様との意見交換や情報共有の場として活用されてまいりました。その一方で、これまで中核を担ってきたベテランの引退が現実となりつつある中、次世代への技術の継承や若手の育成が企業や大学における大きな課題の一つと考えられております。

そこで、今回の「電気・電子機器のEMCワークショップ」では、25周年の節目を機会に、ベテランと若手の交流を目的とし、従来の一般講演中心からパネル討論中心のプログラムとして、幾つかの技術テーマや日本のEMC技術者が今後進むべき方向性などについて、本音で議論して頂ける時間を多く御提供したいと考えております。このパネル討論を通じて、御参加頂く皆様には、ベテランの方々が長い年月をかけて培ったノウハウや奥義の一端を習得して頂けると考えております。また、従来どおり最近のトピックス（電安法の改正、無線電力伝送のEMC）や国際標準化動向（CISPR 32及びCISPR 35、スマートグリッドのEMC等）に関する一般講演も実施しますので、最新情報の収集も行って頂けます。

パネル討論につきましては、ベテランの方々や議論したいことや聞いておきたいことなどを、申し込みの際に御参加される皆様からあらかじめお伺いし、できるだけ皆様の御意向にあった討論が行えるようにしていきたいと考えております。多くの皆様に奮って御参加頂けますようよろしくお願い致します。

テーマ：無線電力伝送のEMCとサステナブルなEMCJを目指して（仮）

期日 平成25年11月7日（木）、8日（金）

会場 ホテル双葉（南魚沼郡湯沢町大字湯沢419 TEL〔025〕784-3357）

プログラム概要

7日（13:00～17:00）

特別講演：湯沢ワークショップ25周年を迎えて

セッション1：パネル討論「サステナブルなEMCJを目指して（仮）」

複数のサブテーマを設定しベテランと参加者の間で討論して頂きます。

8日（9:00～15:00）

基調講演：電気用品安全法改正に関して（仮）

セッション2：一般講演「EMC国際規格の動向」

CISPR 32, CISPR 35, スマートグリッドのEMC, 人体に近接して使用する無線設備のSAR測定の標準化と無線設備規則改正に関する講演を予定しています。

セッション3：一般講演「無線電力伝送とEMC（仮）」

◎プログラムにつきましては現在調整中です。詳細が決まり次第、次の会誌及びWebにて公開します。

【ワークショップ事務局】 EMCJ 幹事

秋山佳春（NTT環境エネルギー研究所）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-4220, FAX〔0422〕59-5680

E-mail：※申し込みの詳細が決まり次第、専用アドレスを開設します。

◎本ワークショップは、財団法人テレコムエンジニアリングセンター公益的調査研究・研究集会助成の支援を受けております。

主催 環境電磁工学研究専門委員会

●International Symposium on extremely advanced transmission technology (EXAT 2013)

委員長 鈴木正敏（KDDI研）

副委員長 淡路祥成（NICT）・宮本 裕（NTT）・

盛岡敏夫（DTU）

日時 平成25年11月7日（木）9:30～18:00（予定）

8日（金）9:00～12:35（予定）

会場 札幌コンベンションセンター小ホール（2F）（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1。地下鉄札幌駅より南北線に乗り、大通駅で一度下車し、東西線に乗換え東札幌駅で下車。駅より徒歩約8分。<http://www.sora-scc.jp/index.html>）

概要

Nowadays the technology on spatial division multiplexing (SDM) has been intensively investigated over the world. EXAT community in JAPAN initiated the development of the technology in 2008 and has led the investigation of 3-M (multi-core, multi-mode, multi-level) technology. The objective of this symposium organized by EXAT is to discuss the current status and future view of SDM related technology. Plenary speakers and invited speakers will give us the latest topics on SDM and perspective for the future. Poster session is prepared for face-to-face discussion on hot topics between researchers. This is the 2nd EXAT symposium after EXAT 2008 held in Tokyo

プログラム

〔プレナリー講演〕

David Richardson (Univ. of Southampton)

Peter Winzer (Alcatel-Lucent)

Tetsuya Miyazaki (NICT)

〔招待講演〕

Yun C. Chung (KAIST)
Andrew D. Ellis (Aston Univ.)
Toshiharu Ito (NEC)
Sang B. Lee (KIST)
Eduardo Mateo (NEC America)
Kazuhide Nakajima (NTT)
Masataka Nakazawa (Tohoku Univ.)
Roland Ryf (Alcatel-Lucent)
Tsunetoshi Saitoh (Furukawa Electric)
Akihide Sano (NTT)
William Shieh (Univ. of Melbourne)
Masahito Tomizawa (NTT)
Takehiro Tsuritani (KDDI Lab.)
Huugo de Waardt (Eindhoven Univ. of Technology)
Makoto Yamada (Osaka Prefecture Univ.)

[ポスターセッション]

下記、募集要項を参照願います。

◎最新プログラムは、下記 EXAT ホームページにて確認願います。
懇親会：11月7日夕刻に開催予定です。参加に際しては、事前
申し込みが必要です。申し込み方法については、EXAT ホーム
ページにて御案内しております。

【ポスター募集要項】

最新の研究成果をアピールする場として、11月7日(木)に
ポスターセッションを開催します。3-M (multi-core, multi-
mode, multi-level) 技術に関するトピックスを中心に募集しますが、
将来の超大容量通信につながる内容全ての投稿を歓迎しま
す。特に若手のみなさんからの積極的な応募をお待ちしてい
ます。申込締め切りは9月末を予定しています。詳細は EXAT
ホームページを御参照下さい。

参加資格 特に関いません。

参加費/参加申込方法 下記ホームページにて御案内しており
ます。EXAT ホームページ <http://www.ieice.org/exat/>

【問合先】 EXAT 研究会幹事

松尾昌一郎 (フジクラ)

TEL [043] 484-2197, FAX [043] 481-1210

E-mail : exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委
員会

●第26回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長 坪井利憲 (東京工科大)

テーマ 「異分野融合による情報通信イノベーション」

本ワークショップは、開始以来4半世紀を超え、更に10年前
の2003年、21世紀の新たな出発点として北海道の登別の地から
その第一歩を踏み出し、北海道開催を続けて参りました。今回
は、この10周年を記念し、また、フロンランナーとして「新
たなイノベーション」に向かうために、情報通信の専門家に加
え、「異分野融合」というテーマを掲げ、情報科学、脳科学、ロ
ボット、航空機、エネルギーなど非常に幅広い分野の専門家の方
をお招きし、10周年に相応しい貴重なワークショップが実現し
ました。併催の通信方式研究会とともに、雄大な自然の中で活発
な議論をお楽しみ頂き、親交を深めて頂ければ幸いです。多数の
皆様の御参加をお待ちしております。

期日 平成25年11月13日(水)~15日(金)

会場 北海道登別温泉第一滝本館 (<http://www.takimotokan.co.jp/>)

TEL [0120] 940-489)

講演テーマ 「異分野融合による情報通信イノベーション」

以下のセッションを計画しています。なお、スケジュール等は
変更になる場合があります。最新情報は学会ホームページ
(<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>)にて御確認下さい。

13日(13:00~17:30)

オープニング 坪井利憲 (東京工科大)

[第1セッション]

1. 次世代映像プラットフォームとMMT標準化動向
仲地孝之 (NTT)
2. ワイヤレス給電と磁界共鳴
居村岳広 (東大)
3. スマートグリッドの情報通信技術の標準化動向
小川雅晴 (三菱電機)
4. 超低遅延HPCインターコネクタのためのランダムトポロジ
鯉渕道紘 (NII)

[招聘講演1]

5. カオス脳理論からコミュニケーション神経情報学へ向けて
津田一郎 (北大)

[特別講演1]

6. 大規模非構造データからの超高速パターン発見：実世界から
の知識創出に向けて
有村博紀 (北大)

夕食・懇親会 (19:00~21:00)

14日(9:00~12:00) CS研究会第一部

14日(13:00~18:00)

[第2セッション]

1. M2M エリアネットワークの課題と第一次産業への適用
加藤正文 (富士通研)

[招聘講演2]

2. 無人機(UAS)の動向—開発状況及び運用ニーズ—
齋藤良太 (三菱重工)

[招聘講演3]

3. ロボットと暮らす社会に向けて—パートナーロボット開発の
現状と今後の展望—
玉置章文 (トヨタ自動車)

[招聘講演4]

4. コミュニケーションを達成する脳波リズム
川崎真弘 (筑波大/理研)

[特別講演2]

5. バイオテクノロジーへの進展
武笠幸一 (北大)

[フェロー講演]

6. Network から ICT へ—通信技術の進化と情報技術との融合—
石原智宏 (富士通研)

講師とフェローを囲んで(交流会)(20:30~)

15日(9:00~12:00) CS研究会第二部

【参加申込】

参加申込締切 10月22日(火)

参加費(予稿集込): 学会員 25,000円, 非会員 30,000円,
学生 10,000円

宿泊費: 16,000円(2泊/全参加者共通), 予稿集: 4,000円

参加申込手続き: 学会ホームページ(<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>)のCSワークショップ参加申込みフォームにてお
申込み下さい。宿泊、及び航空券手配につきましてもCSWS
バックを御用意しておりますので、同フォームよりお申込み下
さい。会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい。

【参加費の銀行振込先】

振込先: みずほ銀行(銀行コード: 0001)

金沢文庫支店(店番号: 899) 口座番号: 1146610

CSWS 実行委員会 (シーエスダブルエスジツコウイソカイ)

なお、振込通知(金額内訳を明記)を下記まで E-mail, FAX 等で行って下さい。

会計幹事 外村喜秀

E-mail: tonomura.yoshihide@lab.ntt.co.jp

FAX [046]-855-1284

【問合せ先】

松永統行 E-mail: m-matsunaga@bx.jp.nec.com

主催 情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会

通信方式研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 52 回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人(千葉大)

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築(SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法(テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム(FIIS)研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 52 回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成 25 年 11 月 8 日(金)

会場 山口大学常盤キャンパス(宇部市常盤台 2-16-1)

一般申込締切 9 月 17 日(火)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ先】

難波一輝(千葉大大学院融合科学研究科)

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第 29 回量子情報技術研究会(QIT29)

委員長 枝松圭一(東北大)

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に生かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。

第 29 回研究会を下記のように開催致します。現在この分野で活躍する研究者は勿論、自分の研究資産が何らかの形で使えそうだと予感している研究者・技術者など、広く関連する分野の研究者・技術者からの発表を募集致します。聴講のみの参加も歓迎致しますので、奮ってお申し込み下さい。

期日 平成 25 年 11 月 18 日(月)、19 日(火)

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 04-05 会議室(新宿区大久保 3-4-1)

発表募集分野(申し込み状況によっては査読の可能性あり)

量子情報、量子計算、量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究、実験的研究、計算機科学的研究、数学的研究、及びその他関連分野。

定員: 150 名

参加費: 事前振込み 一般 6,000 円, 学生 1,000 円

当日会場払い 一般 7,000 円, 学生 2,000 円

(懇親会は別途)

研究会参加申込要領

参加申込は下記 Web にて受け付けます:

<http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/>

講演(口頭、ポスター)の申込、予稿集原稿 PDF の提出は、

電子情報通信学会の Web システムを使用する予定。

口頭講演申込締切 10 月 4 日(金)

ポスター講演申込締切 10 月 18 日(金)

予稿原稿提出締切 10 月 18 日(金)

参加申込締切 10 月 25 日(金)

【問合せ先】

中里弘道(早大)・湯浅一哉(早大)・青木隆朗(早大)・

和久井健太郎(NICT)

E-mail: qit29@list.waseda.jp

主催 量子情報技術時限研究専門委員会

共催 応用物理学会; 量子エレクトロニクス研究会

●第 6 回情報ネットワーク科学(NetSci)研究会

委員長 会田雅樹(首都大東京)

副委員長 中村 元(KDDI)・成瀬 誠(NICT)・

巳波弘佳(関西学院大)

期日 平成 25 年 11 月 22 日(金)

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス

講演申込締切日 9 月 13 日(金)

第 6 回情報ネットワーク科学研究会では一般講演を募集致します。講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学研究専門研究会のホームページに掲載致しておりますので、御参照下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

◎第6回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件：池田徹氏（埼玉大）、フェルディナンド・ペパー氏（NICT）、青野真士氏（東工大）も予定致しております。

【問合せ先】

井上 武（NTT）・久保 健（KDDI）・村山立人（富山大）・作元雄輔（首都大東京）

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第4回安全・安心な生活のための情報通信システム（ICSSSL）研究会

委員長 岡田和則（NICT）

副委員長 田村 裕（中大）・中野敬介（新潟大）

安全・安心な生活のための情報通信システム（ICSSSL）時限研究専門委員会では、第4回研究会を下記のとおり開催致します。安全・安心な生活に役立つ情報通信システムに関する研究について、幅広く御研究の発表を募集致します。奮って御応募下さいますよう、よろしくお願い致します。

私たちの日常生活は、大地震、豪雨、竜巻等の自然災害から、交通事故や誘拐等児童への犯罪まで、様々な脅威にさらされています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たせる役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つ情報通信システムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

対象分野：安全・安心な生活のための情報通信システムに関する以下の分野

- ・アドホックネットワーク構築技術・輻輳制御技術
- ・高信頼無線アクセス技術・コグニティブ無線技術
- ・広帯域無線伝送技術・ネットワークシステム設計技術
- ・最適配置技術 ・ITS 技術
- ・センサネットワーク構築技術 ・災害情報学
- ・災害時行動心理学 ・危機管理情報学

上記に限らず、幅広い分野からの研究発表を募集致します。

発表を御希望される方は、論文題目、著者名、所属、連絡先を、下記の本委員会幹事までお知らせ下さい。

期日 平成25年12月16日（月）、17日（火）

会場 中央大学後楽園キャンパス（文京区春日1-13-27）

発表申込締切：10月10日（木）

参加費：一般2,000円、学生1,000円

【申込先・問合せ先】

井ノ口宗成（新潟大）

TEL [025] 262-6115, FAX [025] 262-7050

E-mail: inoguchi@gs.niigata-u.ac.jp

川上 博（NTTドコモ）

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail: kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報と過去の研究会プログラムを下記 Web ページに掲載致しておりますので御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

本会発行新刊案内

非線形システムは解析から設計・利用の時代に

非線形システムが社会を動かす

並木淳治 著

B5判並製 定価 3,150円(税込)

人間的日常の感情から、“ファッション、流行、流言飛語、パニック”などの発散的現象や、“起業、投資、マネージメント”などの実際の経済活動等、ほとんどの現象は100%人間の相互干渉性が作り出す現象である。要素間干渉を完全に排した線形システムでは表現不可能な非線形システムこそが、私たちを取り囲むほとんどの社会、経済、精神活動を説明・制御する源であるとの立場から、まずそのモデル化、解析手法について分かりやすく説明し、それらの現象の解析評価、そして特に設計・制御・利用を可能にする手法を提示し、一部はExcelプログラム添付で実感させることを試みた。社会システムに興味を持つ全読者へ、《内容目次》ダイナミックシステムのモデル化／線形システムの功罪（非線形システムとは）／超巨大システムの社会的安定の根源／古典的非線形システムを読み解く／これからの非線形システムはこう操れ／見出した非線形飼ひ慣らし手法／エージェント移動をつかさどる多次元セルオートマトンの提案

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**